京城日報

二十一日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 郵券代用二割增

廣告料 五號活字一行金七拾五錢 特別 …

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 磯口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯用 三四五番 營業用 二二三番 振替貯金口座京城二〇〇番

○南支愈不穩 五國臨機の行動を採らん

南支那の形勢刻々不穩の状態を加ふるに拘らず袁總統は近く即位の典を擧げんとするは我勸告を無視するものにして五國政府の默視す可からざる所なるを以て既に五國間に於て臨機行動を採る可く協議成立し雲貴革命軍をも既に交戰國と認むるに充分なるに依り外務省は近く赤塚廣東總領事を北京に派遣す可しと（東京電報）

○露太公殿下御退京

露國太公殿下は廿一日午前隨員及び接伴員一行を隨へさせられ東京驛御出發御退京あらせられたり停車場には貴顯官民の奉送盛大を極む（東京電報）

○三元老に御下問

二十日山縣松方大山の三元老を召させられ日露間の重要問題に關して御下問ありたり（東京電報）

○漁業問題抗議

野村浦潮總領事代理は外務省の電命に依り露政府に對し露領沿岸漁業問題に就き抗議の交渉を開始せり（東京電報）

○四川貨物停送

支那四川行の貨物運送は停止の姿となれり（東京電報）

歐洲大戰亂

▲獨の流布する一種の報道 日英密約を以て露國を強迫すと

露都來電に曰く駐露英國大使ビユカナン氏は獨逸が一種の報道を流布しつゝある旨を公表しこの報道に據れば大使が日英秘密條約を以て露國を強迫しこの條約には露國にして單獨講和を締結するが如きことあらば日本は西北利亞及び滿洲に於て露國にとり不快なる行動に出づべしとの條項を定めありとのことを傳へ居たり然れども是れ全然無根にして日英間に斯る秘密あることなかるべしと言明せり（倫敦電報）

▲英對獨海軍封鎖擴大

英國政府は今回新たに海軍兵五萬を加ふるの計畫をなしつゝあるが是れ獨逸に對する封鎖を更らに擴大する爲めの手段なりと信ぜらる（紐育電報）

▲獨帝勃王と會す

アムステルダム來電に據れば獨逸皇帝は勃國王フエルヂナンドと十八日ニツシユに於て會見せりと（倫敦電報）

▲獨逸開戰以來の損害高

英國陸軍次官テナント氏は議會に於て開戰以來獨逸の損害は二百五十二萬五千七百六十八名にして內戰死者六十萬三千六十名に達せりと發表せり（倫敦電報）

▲露軍の對土軍大勝利

露都來電公報に曰く露軍は比較的輕微の損害を以て土軍の要害の地點數箇所を占領し且つ敵の大砲十二門其他莫大の軍需品多數の俘虜を鹵獲せり而して土軍數箇聯隊は敗滅せり（倫敦電報）

▲墺黒媾和不調

桑港來電に曰く黒山國墺國間の媾和は愈々打切りとなり再び戰鬪を開始すべしとの公報ありたり（東京電報）

○在野黨演說會

在野黨は都下各所に於て政府攻撃演說會を開始せり（東京電報）

○利下問題再燃

日本銀行利子引下問題再燃せんとす（東京電報）

○正貨準備激增

日本銀行の正貨準備激增せり（東京電報）

○工業倶樂部成る

百萬圓の資本を以て日本工業倶樂部組織せられたり（東京電報）

○明太の大豐漁

咸鏡南道沿岸の明太魚は昨臘以來捗々しき漁獲を見ざりし所二三日前より近年稀なる大豐漁あり今までの漁獲高五萬五千駄に達す（元山特電）

雜報

◎寒中天機奉伺

二十一日は大寒の入に相當するに就き山縣政務總監は 天皇 皇后兩陛下 皇太子殿下に對し奉り寒中の天機奉伺を爲し同時に李王李太王兩殿下御使閔長官李埈公李堈公兩殿下御使金張兩武官は同日午前十一時三十分總督府に政務總監を訪問し同樣奉伺の傳奏を請ひたり

◎特使隨員北行

過般來入京中の支那政府遣日特派大使隨員六名は二十一日朝九時十分發急行にて出發北行したるが內三名は平壤へ、他の三名は鎭南浦へ下車する筈なりと

◎定例長官會議

總督府にては二十一日午前九時半より山縣政務總監各部長官其他立花警務總長各

◎露國の採金保護

千九百十五年十二月八日露都發行官報所載に依れば露國は千九百十五年九月十四日及十一月十四日の閣議に基き露國內の採金生產を增加せしむる爲め官立試金所及びペテルグラード造幣局を經由して政府に金一フント（日本百十匁餘）以上を納付するものには其代金以外に之に對する三割の賞與金を下の規定に依り下付する事となれり

（第一）採金業者又は一般公衆にして純金一フント以上を官立試金所又は露都造幣局に持參するものに對し帝國銀行より賞與金を下附す

（第二）賞與金は當分の內持參したる金の價格に對する三割とす但し金の價格は鑛山稅を控除す

（第三）金の持參者には從來の通り直ちに之に相當なる代金を交附し同時に賞與金を下附すべき證書を下渡す

（第四）帝國銀行本支店より交附したる金の代金及び賞與金の證書に對し[illegible]の印紙稅を徵收す

（第五）一フント以下の金を持參したるものは之に對する代金のみを交附し爾後同人が漸次持參の金一フントに滿ちたる時賞與金の證書を下渡す

（第六）本賞金は電報にて各地に發達し直ちに之を實施す

因みに千九百十五年十二月廿三日沿黒龍總督府公報紙上に[illegible]に於ける大藏省試金所は本文の規定に依り金の持參者に純金一ゾロトニク（日本一匁一分三厘五毛）に付五留五十三哥の價格を以て交附し三割の賞與金を下附の旨公告に掲げたり

◎朝郵運賃引上 沿岸航路値上一割 二月一日より實施

朝鮮郵船會社にては二月一日より沿岸航路に於ける船舶運賃の約一割を引上ぐることゝなり目下其調査中なり、其運賃引上に由て直接の影響を蒙る航路は釜山を基點とせる釜山麗水、同統營、同浦項、同濟州島、同江原道、同鬱陵島の各線を主なるものとし木浦、濟州島、同鬱陵島の二線等なりと云ふ同社は從來所謂認可運賃の範圍內にて營業し來りし創立當時より同一の運賃率を維持し來りしが今回如上の各線に於て約一割の運賃引上を

◎特別評議員任命

京城商業會議所特別議員の詮衡は從來の慣行に依り本所の手許に於て詮衡中なりしが今回吉原三郎、勝田主計、趙重應、[illegible]の四氏に任命されたり因に右の[illegible]は來る二十八日[illegible]に於ける[illegible]に出席すべしと

阿波共同汽船[illegible]は[illegible]一月二十一日[illegible]

◎大阪より

▲羅紗界の前途

歐洲戰亂は[illegible]

▲四川貿易の影響

[illegible]

▲露國燐寸免稅

露國政府は國內に於ける安全燐寸の供給不足を補はんが爲め露曆千九百十七年一月一日まで外國品百萬箱（即ち七十五本入十二箱）を輸入稅を免除し且つ內國品に對する消費稅を通用せんことを計畫しつゝあり此計畫によりて外國品に對する稅金は一箱につき概算八留六哥だけ低減を見る次第なりと

▲眞鍮七千噸輸出

最近當地某商會より浦鹽に向け眞鍮七千噸の輸送を開始することゝなり十七日大阪商船會社に對し右輸送方に付照會し來りたるが本船運賃は一噸四圓に取極め度き旨申來りたるが近く毛布五千噸の大輸送を差控へ居れるより同會社に於ても目下考究中也（大阪支局電報）

人事消息

▲米國駐在支那公使一行六名 二十日午前九時十分南大門發安東へ

▲日本駐在瑞典公使一行二名 同上列車にて安東へ

▲三島太郎氏（鮮銀理事） 二十日午前八時三十分南大門發東上

▲山口諭助氏（大每特派員） 廿一日朝發大阪へ

▲韓相龍氏（漢城銀行專務） 內地行は誤り

▲小野希雄氏（鐵道局技師） 廿日內地より歸任

▲伊東清次郎氏（仁川遞信局出張所技師） 同上

▲細梅三郎氏（山形縣代議士） 廿日午後釜山發內地へ

▲本多親清氏（鳥取縣代議士） 廿一日朝南大門驛通過安東方面へ

▲齋藤主計中將（佐世保經理部第一課長） 廿日午後弘濟丸にて釜山上陸元山へ向ふ可く北行

▲木田富吉氏（平壤府尹） 廿日午後內地より釜山上陸十一時發列車にて平壤へ

▲西川庫五郎氏（仁川稅關技師） 十九日內地より歸任

▲吉田秀次郎氏（朝郵專務） 二十日朝釜山著午後急行にて大阪へ

▲永井鮮銀營業局長 大正五年度の事業打合の爲め新義州及び東京出張を命ぜられ昨日中に出發の筈

▲副倉外茂鐵氏（辯護士） は訴訟用にて公州に出張中の處廿日歸京

▲藤谷讓吉氏（華川憲兵隊長） 二十日午後入京 山本旅館へ

▲中村長五郎氏（實業家） 廿日夜入京天眞樓へ

▲[illegible]殿下（子爵） 二十日午後七時三十分南大門著水原より歸京

▲小山少佐（第九師團副官） 川村師團長に隨行咸興へ出張中の處二十一日夜歸任

南言北語

雲南の革命軍中には內訌が起つて進軍を中止して居るとの說がある▲無論其眞僞は受合ふ事は出來ぬが若し實際とすれば北京政府の對[illegible]策が成功したので何うも受け取れぬ點が多い▲蒙匪猖獗の報が度々飛び込んで來るけれど袁總統はやゝ大した事はなからうと思つて居たが▲何うも今度の奴は却々見脫して置けない▲北京政府の大敵は革命軍よりは此の方が[illegible]▲綏遠城附近で起つた蒙匪は宗社黨の巴布札布を首領として居る▲[illegible]活佛部下の猛將で[illegible]▲其の別働隊は[illegible]北京を目指して[illegible]の男子だと云ふ事だ▲蒙匪は十八歲以上の男子を以て組織し全蒙の青年壯士何れも天性の猛勇を振つて居るから討伐軍から云つても雲南よりも此の方が大敵であるか▲今度の雲南方面の革命軍が成功するかせぬかは頗る興味ある問題だ▲が、見樣によつては例の支那式騷亂だ▲許り大きいのだ何にが出來るものかとも見える▲けれど此の見樣は支那を馬鹿にした見樣である▲馬鹿に見て居ると今度は此方が馬鹿にされるから溜らない▲袁總統が何あに革命騷ぎは大したものぢやないと云つて居ると▲お膝元から暗殺の大陰謀が飛び出した▲而も其れが袁總統に信任を得て居る者であるから大分馬鹿にされて居る▲譯だ▲暗殺と云へば奉天の張作霖君も爆彈の贈物を受けたと云ふ▲此の向では帝政派の各將軍連は假令石があつても爆彈だとチヂコマルのだらう▲癇癪玉の一打も這つたら氣絕するかも分らぬ

最上醬油

特許機械製 ほまれ味噌

絕對的品質本位

鮮滿釀造界唯一の名譽

於朝鮮始政五年共進會 金牌受領

釀造元 仁川港 日本醬油株式會社 電話一五七番 振替京城一一七四番

京城出張所 電話二五四番 振替京城五二三番

三ヶ月卒業 英語獨學び

山岡秀岳著 大判全三冊 價一冊三十錢宛 郵稅一冊四錢宛 三冊分一圓 郵稅免除 ABCの二十六字より綴方、單語、發音、會話、文法、習字まで三冊を見れば覺えられる、誰にでもわかり易く原語に一々假名をつけて叮嚀親切に說明がしてあるから容易に獨習が出來る。

巡查看守受驗案內

法學士秋野流著 價五十錢 郵稅六錢 新法に依り試驗問題の各科目に付逐一答案を附し又受驗上職務取扱上必要なる諸法令を集む。

文官普通及裁判所書記試驗問題解答

法學士秋野流著 價五十錢 郵稅四錢 全一冊

內容は府縣廳及び大藏省、地方裁判所其他に於て施行せられたる明治卅一年より最近までの最新問題を集め親切叮嚀に之が解答を附す。

東京神田表神保町（振替東京三二八八） 修學堂 新刊書目御申込次第進呈

新刊 リヒアルト、ワークナー

東京音樂學校教授 文學士 田村寬貞編 菊版七百頁寫眞版五十枚 定價三圓八十錢 送料八錢

リヒアルト、ワークナーは十九世紀の一大巨人也、彼は實に古典派に汲み浪漫派を繼ぎ宗教學を取り、ベートヴェンより現代に至る一切の音樂を包括して偉大なる綜合藝術を建設せし絕大の樂聖たるに止らず、詩人と哲學者、政治家と宗教家、革命家と建設者、民權家と王政論者、基督信者と佛敎信者とを一身に兼ねたる彼其人は、質にさながら一個の生ける綜合藝術也、彼を外にして近代音樂を語るは痴也、彼を外にして近代思想と藝術とを語るは愚也、著者は新進氣鋭の音樂學者、多年の蘊蓄を至大の感激に託して本書を成し、若くして逝ける愛妻の靈前に捧ぐ、行文雄健、理義透徹貫くに火の如く熱情を以てす、若し夫れワークナーの藝術論漸く知られ、其樂劇亦上演せられんとする現代の日本に向つて、この著が有する意義と使命とに至つては恐らく多言を要せざらん

新刊 西洋音樂講話

理學士 田邊尙雄著 四六版四百十三頁寫眞版十三枚 定價金一圓三十錢 送料八錢

岩波書店刊行圖書目錄
漱石著 道草 一圓五十錢 哲學叢書（既刊分）
漱石著 こゝろ 一圓五十錢
三宅雪嶺著 硝子戶の中 六十錢 田邊元著 最近の自然科學

發行所 東京神田南神保町 岩波書店 電話本局五四二〇番 振替東京二六二四〇番

仁川商業會議所公示第參號
大正五年一月二十四日仁川商業會議所評議員選擧ヲ執行ス其ノ日時、場所及內地人、朝鮮人ヨリ選擧スヘキ評議員數左ノ如シ
一、選擧ノ日時 一月二十四日 午前十時ヨリ 午後四時マデ
二、選擧場 仁川府仲町一丁目仁川商業會議所
三、選擧スヘキ評議員ノ數（定員二十八人） 內地人ヨリ 二十一人 朝鮮人ヨリ 七人
四、注意 選擧ニ關スル詳細ノ事項ハ各會員ニ配布セル評議員選擧心得ヲ熟覽セラルヘシ
右公告ス
大正五年一月十九日
仁川商業會議所評議員選擧委員長

朝米 正 橋本猶作
大阪堂島米穀取引所仲買人
致富之實無代進呈
電話長東 一一五〇 一二五五 一二一七

新刊書御案內
書名 著者 定價
詩傳乃木大將 兒玉花外 八〇
東葉集 [illegible] 一、〇〇
交の[illegible] 一、〇〇
白隱禪師言行錄 高橋竹迷 一、〇〇
禪譯論 吉田玉堂 一、二〇
遂磨 松本文三郎 一、二〇
獨逸皇帝大野心論 樋口麗陽 八五
金 そら者飯田旗軒譯 一、七〇
悲しき思ひ出 岩下小葉 四〇
平和か鐵血か 七十名家論述 一、三〇
現代世界の變遷と將來の發展 高楠 胸吉 七、五〇
家庭と學生 大町桂月 三五
修養一ヶ年 岡田 五〇
眼と神經衰弱 前田彦男子 七〇
瓦斯發動機と電動力發電所 永雄節郎 二、二〇
獨逸工學要覽 八田志樓馬 一、三〇
貸倒豫防貸金回收の秘訣 花月 九〇
改正戶籍法解說 岩田保吉 三、八〇
假名眞似政界著名の二 友社 一、〇〇
現今名家書翰 [illegible] 一、〇〇
新撰閑素全集 鈴木筑次郎 一、〇〇
齋藤文選 民友社 一、五〇

京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八六 振替京城二五七三

「添乳しながら……」
詠進歌入選の光榮に浴したる　清司久枝女史感激しつゝ語る

選歌の光榮に浴したる北村木久枝子を奈良縣生駒郡北生駒村字菜畑北村木清司方に訪ふ、清司氏は奈良

▽女子高等師範 學校の會計係にして久枝子(三五)は其の妻なり、したる本社よりの電報を手にしつゝ久枝子は本社大阪支局記者が齎ら『本當でせうか』を冒頭に語つて曰く『實はあなたの電報を拜見し、始めて知つたので、不束な身の此の上もない光榮であります、私は奈良縣高市郡高取町山崎近之の長女で、明治三十四年三月奈良高等女學校を卒業いたしました、女學校に在學中から好きで當時和歌は目下神戸に居られる大桑先生について習ひました、女學校を卒業すると間もなく北村木に嫁付きましたが良人の清司はまた大變な和歌好きで、毎日日記の代りに三四首づゝ歌を詠んで日記帳に記してゐるので私も其に感化されて和歌日記までこしらへて毎日二首乃至三首づゝ何か作るのを

▽無上の樂しみ としてゐます、併しながら娘時代とは違ひまして子供もある上に、晝は村の女を集めて裁縫を敎へてゐる忙がしい身體になつたので、とても充分に勉強する事は出來ず思ふやうに良い歌も詠めませぬ。今までも一度勅題の御歌を詠み及ばずながら出して見ようと思うてゐましたが何時も其の機會を逸してゐました、ところが昨年は御大典もあり芽出度い年なる上に

▽殊に國寄祝こ いふので、是非詠進して見ようといろ〳〵考へ恐れ多い事ではあるが、毎晩床に入つて、子供に添乳をしながら考へてふと作りあげたのは此の度び光榮に浴した歌であります、此の歌に就ては別段申しあげる程の事もなく、斯くの如に子供の添乳をしながら、尊き大君の御いづに依つて國威八紘に輝やく日の本の國は外國のものまでが其の御いづに浴したいと

▽美やむで居る といふ事を詠んだだけで御坐いました何しろ忙がしいやら、それに子供の守や何かで頭が大ぶん混亂してゐたので自分ながらも決して佳い作だとは思ひませず迚も選に與るなどゝは夢にも思ひませんでした云々(大阪支局)

臣となり民となりなほ外國の
ひともうらやむうぶあきくに　ひさ枝

國境稅關の警戒
モルヒネ及武器彈藥密輸入の取締

時局に際し支那の輸入禁制品たるモルヒネ又は武器彈藥等を密輸入する形跡あるに依り安東海關にては昨今嚴重なる監視を爲すと同時に一方新義州稅關にても亦監視を嚴密にし鐵橋監視所の如き一々通行人を誰何し身分不明のものは殆んど身體檢査に等しき嚴密なる取調べを爲す等其警戒振り頗る物々しきものあり

密偵國境を踰ゆ
支那人新義州に入込む

國境の關門たる新義州附近は時局柄革命黨一派の策源地たるが如き風評あるを以て支那官憲にては昨今同方面に多數の密偵を入込ましめ居る形跡あり(安東縣)

大相撲取口評

△紅葉川に源氏山 紅葉は幕下の連勝力士源氏又新入幕第一の元氣力士此の一組は當日多數の取組中恐らく好角家最大興味を以て迎へし好取組なりしならん小兵ながら突張と云ふ飛道具を得意とせる勝氣の紅葉は立際の汚なき源氏に心焦ち立上り據然に突進むを源氏土俵際にて危く殘すや反對に攻勢を取て突き進み左手に紅葉の腮を攻めて押切らんとせしも紅葉引つ外すや再び攻勢に出で〻突返す出鼻を源氏引掛け紅葉の狼狽するに乘じて隙さず突出したるは火の出る樣な大相撲にして紅葉は初めて土が附きたるは惜し此相撲は力量體格の優れるだけに源氏が勝ちたるものにして紅葉の善戰を賞するに足る

△紫雲龍に石山 石は連日大敵を喰いて元氣愈々横溢し立上り樣飛び込んで懷ろに入らんとするを紫雲捨つて勝ちは鮮か石は儘かに注文に箝まりたり紫雲亦老巧と云ふべし

△鶴渡に栃木山 意氣男の鶴渡り此場所珍らしくも味をやる異には宇都宮を極め出だし今又剛勇無比の栃木を向ふへ廻はし四つに渡るや左上手を引き猛然吊り進み栃木土俵際に殘して廻り込み下手投を打つを上手投を打ち返へして鶴の勝は恰かも段廻ひの形なりき元來鶴は偉材を持ちながら性來意氣者にて力士としては殆んど問題外の男となり居れるもの栃木の勇を以てして餘まりに意氣地なし元來栃木は左差しが得意にて若し左りが入つて右を當てさへすれば風でさへ押し切る程なるに右四つと來たゞめ此の有樣彼れも未だ四つ相撲は未し西軍の勇士たるものこゝに鑑みざる可からず

△兩國に玉手山 兩國は玉手山の苦手なり本場所は勿論巡業中の申合ひにも玉一度として兩に勝ちたる事なし當日玉勝手迎への左四つながら充分喰下りたれば玉に六分の强味ある筈然るを搖上ると見せて引落したる兩は頭から玉手を呑み込みたり玉は反對に初めから勝てぬ氣で掛りたりと見ゆ

△西の海に大蛇潟 從來殆んど五分の勝負を保ち來り西に取つて苦手とも云ふ可きなり立上り左四つとなるや大蛇攻勢を取つて投或は得意の捻り等を見せて攻め立つるを西能く殘して寄り進み大蛇の殘さんとするを差手を拔き押し倒したるは堂々たる勝ち西此の場所は四隣の事情に刺戟せられてか平常に似合はぬ奮鬪を爲し些の危氣なし正に横綱の貫祿あり

△對馬洋に大鳴門 は鳴門猛烈に立て對馬が反對に突返へしたる出鼻を叩き危ふく殘すや左手を手繰つて引落したる健鬪少しの間隙も無し離れては對馬到底鳴門の敵に非ず六尺有餘の偉材ある對馬チト突張りの研究を爲すべし

△突錦に眞砂石 新大關而かも連日堂々の勝を示し居れる錦又も全勝と思ひしに小冠者眞砂の爲めに喰はれたるは惜し立上るや眞砂突立て錦も又突返へしたるが眞砂が更に猛然突立てし鋭鋒を錦一寸イナしたるが破滅の原にて敏捷の眞砂寸隙も呉れず其儘突出して新大關に黒一

表彰金の行衞
平壤商業會議所解散式場の殺氣

鮮人側平壤商業會議所にては獎勵金を受けし同時に金剛會の四分の一を創立委員及び其他有効者に表彰金として分配する事に決したるが今回端なくも此事に關し大紛擾を惹起したり詳細を聞くに會頭鄭仁弼氏は商業會議所

▽解散に關し 委員會を開かんとせしも出席者定數に達せざりし以め副會頭金能賢氏外二三の委員と協議の上左の協議事項を起草して全委員に回章をして調印を求めたり(一)平壤商業會議所解散の事(二)清算委員を選定して解散後の殘務を處理する事(三)清算後の剩餘財産は其の二分の一を新設平壤鮮人俱樂部設立の基金として寄附し四分の一を御大典記念公會堂建設に寄附する事(四)前記精算委員には會頭及び有功者に對し記念品贈與に充つる事

▽決議さんこ して屢々總會を催したるも出席者更に無きを以て止むを得ず回章を以て多數會員の贊同を求め規定數以上に達したりしかば前記各項を決議事項と認め直ちに實行に著手したるが其の後會頭及び精算人は不當にも一二決議事項を變更して建築物即賣却二千十圓を左の如く支出したり

一、金七百圓(御大典紀念公會堂建築補助金)
二、金七百圓(鮮人商人俱樂部補助金)
三、金四百十二圓六十錢(設立有功者表彰金)
四、金百九十七圓四十錢(諸雜費)

即ち始め決議したる(一)及び(二)の事項は全く獨斷にて金額を變更したる者にして會員中一人として關知する者無かりしに本月

▽十四日擧行 會議所解散式に於て突然、發表したるを以て會員は憤慨ひとし非常に憤慨したる矢先有功者表彰の支給及び記念品贈與者の氏名すら明細に報告せざりしを以て會員多數は益々激昂し口を揃へて詳細なる報告を爲せと迫りあはや暴行にも及ばんとする形勢なりしかば居合せた會員の一人たる本德煥氏は事態容易ならずとし遂に鄭會頭より金百三十圓(金指環)副會頭七十圓、同上精算人三十圓宛(金指環)委員全部に七十圓を分配したる旨を自白し且つ現場に於て件の金指環を返却したれば會員は口々に

▽盜賊々々 と叫び乍ら正副會頭及び精算人の周圍に殺到し記念品を返せ精算書を發表せよと迫りたれば同人等は色を失し遂に報告も終らざるに式場を退出したりしを以て會議所解散式も騷擾の中に中止したり以來數日紛糾は日を經るに隨つて擴大するのみにして若し正副會頭及び精算人等にして恬然として反省せざる曉は會員數百名は大會を催して最後の手段を講ず可しと敦圍き爲めに平壤商市街は殺氣横溢して何時如何なる爆發を見るやも計られず目下正副會頭は何れも家内深く姿を匿して出ざる由なり因に會員の意嚮を聞くに已に記念品を贈呈したる以上假令

▽公平に非ず としても默認もすべしとの意見多しと

只今お暇を戴きます!!
妻君の石炭酸自殺

大邱上町藤井某内縁の妻平岡のぶ(二三)が十九日石炭酸を飲みて自殺を企てし椿事あり事の起りは藤井が某役所より歸り家中の不潔なりしを見て妻に掃除の行き屆かざりしを詰責したるにのぶは其場に居堪へざりけん暫し次の間に行きしと見しが再び來たり、藤井の前に坐し兩手をつき『隨分と長々御世話になりました只今御暇を戴きます……』と言ふも了らざるうちにカクリ頭を垂れ甚だ怪しげなれば藤井は妙な事するものと傍に立寄り見ればこはそも如何に顏色蒼ざめ齒を喰みしめ苦悶の體に打驚き近隣の人に援助を叫び時を移さず慈惠病院に舁ぎ込み種々介抱せしが右は全く石炭酸を飲用せるものなれど幸ひに稀薄なりし爲め漸く生命丈けは取止めたれどなか〳〵の重患なりと此事市内に傳はるや種々の風說起り昨年二月も先妻が恰も同じ座敷にて石炭酸を仰ぎ非業の死を遂げたるも込み入りたる事情ありし爲めにて今回のことも先妻の怨靈が祟りたるに非ずやなど取沙汰しつゝありと(大邱支局)

巡防兵と巡警との格鬪

十八日午前九時頃安東駐剳第五營前哨巡防兵約四十名は、東警察署第三分駐所を襲ひ署長王復昌以下巡警六名に負傷せしめたる事件あり原因は去十六日第三駐所巡警が巡防兵一名を賭博犯の共犯者として引致したるに對する復讐に出でたるものにして時節柄種々の浮說あるも革命黨員とは何等關係なきもの〻如し

六尺三寸の猛虎を生捕る
動物園に來らんか

平安南道龍岡郡大代面梧山里寶林寺下金錫猷(七七)は近時自宅附近を猛虎徘徊の形跡あるを以て陷穽を設けて待ち居たるが去る十四日夜十一時頃長さ六尺三寸五分餘の牡大虎一頭を捕獲し其の儘賣却の目的にて飼養し居れるが李王職動物園にては三百圓ならば買入る可しと

京城質屋組合總會

京城質屋組合總會は一月二十日午後四時頃から黄金町三丁目の清華亭樓上大廣間で開催された、參集せる同業者約七十名大正四年度の決算報告、五年度の豫算決議、役員の改選をなし終つて新年宴會を開催した、來賓としては金谷府尹、宮舘本町署長、京城の新聞雜誌通信社員等都合十數名であつた、來賓及び組合員一同着席配膳終るや組合取締田村義次郎氏は一場の挨拶をなし引續き歐米各國にての例を引きて質屋の來歷談を試み是に對し金谷府尹は來賓側を代表し謝辭を述べ併せて質屋に對する希望を陳ずる所あり次いで大垣京城通信社長は典祭と質屋との關係を面白く說きて最後に氏の發聲にて會衆の萬歲を三唱し後酒間を斡旋し一同和氣靄々の裡に散會したるは午後十時頃なりし因に今期當選したる同組合の役員如左

取締田村義次郎▲副取締戸部錫▲評議員十名石橋展維、橋本友雄、馬場周三、多田次平、田村俊次郎、中村十郎、野部漿、江川鶴三郎、南源太郎、杉本喜太郎

大寒

今二十一日は大寒の入りで時刻は正午十二時零分である昨冬より今年にかけて近年稀有の暖さで大寒に入つたからとて此調子では俄かに大した寒さはないだらう仁川觀測所の觀測によると天候は一時一寸變りはするが直に晴れ氣温は前日と大差はあるまい氣壓は前日は朝鮮に高氣壓があつたが本日からは漸時東方に向ふ見込昨日正午の天候を觀測すると支那の北方に低壓分があつて其中心附近は非常に天候が惡いが京仁附近は本日から大變好くなり風も雨も雪もないから此生温い氣候は二三日續くだらうとのことだ

春場所星取表(○勝●負×分△預)

東の方	成績
大錦	[illegible]
西の海	[illegible]
對馬洋	[illegible]
綾川	[illegible]
栃木山	[illegible]
兩國	[illegible]
小常陸	[illegible]
鶴渡	[illegible]
九州山	[illegible]
岩木山	[illegible]
紫雲龍	[illegible]
四海波	[illegible]
鳴門龍	[illegible]
大ノ川	[illegible]
龍ヶ崎	[illegible]
宇都宮	[illegible]
源氏山	[illegible]
朝嵐	[illegible]
宮城山	[illegible]
逆鉾	[illegible]
緋縅	[illegible]
吉江	[illegible]
勝七十負五十九	

西の方	成績
鳳凰	[illegible]
伊勢ノ濱	[illegible]
太刀山	[illegible]
朝潮	[illegible]
玉手山	[illegible]
大蛇潟	[illegible]
常ノ花	[illegible]
大鳴門	[illegible]
黒瀬川	[illegible]
綾浪	[illegible]
台山	[illegible]
土州山	[illegible]
千年川	[illegible]
眞砂石	[illegible]
響矢	[illegible]
八甲山	[illegible]
鶴渡	[illegible]
玉椿	[illegible]
柏戸	[illegible]
寒玉子	[illegible]
小野川	[illegible]
勝四十負六十一	

浮世鏡

石見國濱田町森田益吉の娘おさつといふは親の許さぬ仇し男淺五郎といふと渡鮮以來一回も郷里に音信せないといふので親達は心配中此の程風の便りに全州に居ることが知れ同警察署へ時々音信するやうにと親からの說諭願が來たとは厄介な娘▲廣島縣佐伯郡大竹町の兒玉かず柔(十八)こいふは釜山へ來て藝者人の如く裝つて寺院の賽錢箱を荒し廻つてみたのが十八日捕はる▲去十六日忠南道漢津の沖で長さ七十尺の鯨が捕はる價格は市價で二千圓▲鹿兒島縣指宿郡指宿村の大小田正明(一八)といふ青年が十七日夜大邱で物を盜んで同監獄の未決監へぶち込まれると監獄の中には二人の兒の尊いふ平次、次平といふがゐたのでオヤ〳〵▲平南道价川郡蓮塘里の朴信化といふもの妻張海元(二十)は素行修らず散々不首尾を重ね何うせ生きて居られぬ身の凍えて死ぬが樂だらうと分別し其の機會を覗ひ居る折柄去十七日の夜の雪降りに豫ての望みを達するは此時だと福祥一枚で戸外に飛び出しやう〳〵本望を遂げて人事不省に陷つたところを人に援けられ暖い布團の裡で息を吹きかへし『成る程凍え死には樂だ〳〵』

演藝

▲壽座 二十二日の替り狂言は二番續物生贄記大序より大詰までにて役割左の如し
▲御成座 二十二日の替り狂言は一番目琵琶歌十二場二番目新劇化地獄なり
▲浪花館 遊三一行東京落語にて引續き開演中なるが廣江商會にては寂寞の際同券持參者は各自共半額に割引あり依て同三日中に大切に遊三の獨演
▲有樂館 力士浪花節櫻川一行にて好評なる
▲壽館 燕左衞門二十一日の語物左の如し

●救濟金醵出 旭町罹災者救助……べの上斡旋者へ通知し可成公平に分與することゝ爲りし由奇特のことゝ

李範田 は掏摸專門にて京釜線を行せるを目掛けて懷中物五圓三十四錢を掏摸たる處機敏なる埴村刑事に捕へられ

一月十三日金金都總東面内城洞谷間に於て牡豹一頭を捕獲し金三十五圓……體長五尺

天くも 曇り小雨

澁川玄耳先生著 藪野椋十 日本見物 世界見物 ◎驚く可き大廉價◎ 國寶的文學 天下唯一の諷刺文學 東京見物京都見物鎌倉見物英國見物獨逸見物大阪見物奈良見物朝鮮見物米國見物佛國見物 誠文堂書店

澁川玄耳先生著 日本神典 原文古訓俗語 三體古事記 日本の國體と民性とを赤裸々に傳へたる神典にして歷史及文學の淵源たる古事記は我國最古の典籍にして、一種の奇なる漢文より成る之が古訓に千載百年以前の純粹なる國語なり。今、玄耳先生現代の通用語を以て此の高古難解なる古事記の全部を譯し三體對照して意義瞭然、浩瀚なる註釋書に依るを須ゐずして婦女子も尚容易に此神典を會得せしむ

記者養成 新聞講義錄 會長大木伯 大日本新聞學會 記者志望者一大福音

幼年の友 二月號 特別附録 金鵄勳章 おひな樣 實業之日本社

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 朝鮮銀行 支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

恩給 立替 貸金 黄金町通櫻井町入軒西四ツ角 元祖 博多屋本店 電話一二二一番

マルセル石鹸 定價(甲)二十錢(乙)十七錢 △マルセル石鹸は絹物せんだく用唯一の石鹸でございます △マルセル石鹸は普通洗濯に御使用なりましても能く汚垢を落しまして減が少なふございますから御徳用でございます 仁川濱町(京日仁川代理部)電話二四〇 特約店小賣店 洗濯石鹸各種販賣 仁川本町 安保商店 各藥種店、雜貨店、化粧品店 仁川石鹸製造所 京城明治町 月本商店

業、家政、家族被害の程度を取調に依頼したるに付同署に於ては其救濟金を醵出し其分配方を本町署に篤志者に對し町內有志相談し左記の

一同五圓 一同十圓 一同三圓 一同二圓 …(寄附者氏名略記、判讀困難)

釜山 海産物趨勢 煎子市場景況

明治四十四年度には製品高僅かに二十四萬百二個賣上金十六萬七千八百九十四圓に止まりし釜山精製の煎子が五年後の昨大正四年度には一躍個數五十四萬四千三百六十五貫上金亦四十五萬二千二百五十七圓と云ふ巨數の額に上り市場に重要視せらるゝに至りしは鰹節代用品として需用激增の結果價格高騰せしと又一面には米國並に支那臺灣方面に商圏が擴大されしに因るものなり而して昨大正四年度の貿易市場の概況を陳ぶれば一月より四月に至る間は賣行好調にして前年に比し約二倍の增率を得たるも五月に至り突然支那非買同盟の厄に遭ひ殆ど豫算の三分一の取引も不可能に終りたり最も出盛の夏季に向うて斯の如く好個の大得意を失したるは一大打撃にして而も八月に至る四月間の長期に亘りしは斯界に頓挫を醸したる最大源因なりき然れば當業者に於ても焦慮熟議遂に善後策として內地及び米國の販路に擴張を施こしたる結果漸次發展の域に進みしと同時に幸にも支那の同盟非買熄みて昔日の如き取引を再興するの順調に向ひたり秋期に至り京都に於ける御即位御大典のため京阪地方の賣行意外の繁忙を示し從つて價格の騰貴二割以上に至りたる爲夏期に於て蒙りたる損傷を下半期にて全く挽回し尙前年に比し一割の增收を得たり引續き本年に入りても益々好況を保ちつゝ尙一層の高値氣配を示せり依つて特殊の事變發生なき限りは大に樂觀して可なり斯く數十萬に達する財源も微々たる煎子にあるを思へば洵に積羽沈舟の感なきに非ざるなり此煎子は重に巨濟島統營等の南沿岸の漁業地より釜山に集め精選干燥釜山重要海産物組合の手を經て供給さるゝなり

忠州經濟概況

大正四年後半期金融經濟の概況につき漢湖農工銀行忠州支店の調査によれば前半季移出入取引不振の後を受けたる經濟界は引續き不味の狀況を持續し商況極めて沈滯し殊に六月中旬後頻次の降雨は地方農民の出市を阻止し所謂夏枯れの際一般購買力の減殺著しく八月に入りて新米大小豆に對する豫約商談漸く頻繁ならんとするの傾向を呈せしも大勢に於てさしたる變化なく九月中稻新穀出廻りに際し買付資金たる彼仕向爲替の漸增は月末蠶繭季資金の移動と相俟ちて春來沈衰勝なりし當方面金融商況共に同月に入り漸く恢復の曙光を認めたるにより辛うじて預金利子の引下を斷行せし時恰も忠州特産物の大宗たる黃色煙草乾燥資金の需要起り特に三萬餘圓の投下を爲たる一時は延いて一般資金の回轉疏通を順調に導き十月に入り秋冷俄かに加はり各物雜貨類の賣行格別良好にして商機漸く熟せしの觀を呈せしを以て當路商人は爭うて共進會の觀覽を利用し茲に冬季間各種需要の諸物貨の移輸入一時旺盛を告げ十一月に入りては既に地方購買力の振興に伴ひ一般の人氣頓に加はり曠古の御大典は更に一段の活氣を促し月半後の米價は內地氣配の昂騰及び納稅等の關係により回米夥しく京仁方面よりの買付前渡金は農銀忠州支店爲替支拂高に徵するも三萬圓を超過し例年金融緊縮を訴ふる十二月に入るや突然京城各煙草會社間特約に成る當地黃色煙草代金八萬圓の流入あり地方財界の好調と相俟ち年末決濟を易からしめしのみならず一般預金の激增は其反映と觀るべく昨年同月に比し三萬八千餘圓の增加を示し農銀支店年末帳尻は八萬一千餘圓を計上せり是を上半期の營業成績に對照するに商業資金の緊縮一萬餘圓農工資金の投資增額一萬餘圓を示し大正元年以來曾て見ざる利益金六百餘圓を計上せり

群山水道現況

群山水道の現況を聞くに水道創設給水開始以來僅々七箇月を經過せざる現狀としては成績頗る良好なるものあり客年十二月末調査に係る給別を示せば計量二十五戸專用八十四戸共用八十三戸公設共用二百九十七戸計四百八十九戸に達し十二月中に於ける給水料は五百零四圓なりしが客月當港海岸に船舶給水設備を施し既に給水を開始したれば此の方面より得べき給水料一箇月七八十圓に達すべき見込なれば共出栓の增設其他を合せば本月分給水料は優に六百圓を超ゆべく亦た給水料金の徵收の如きも順調に行はれ各栓共引用申込者は每月增加し成績極めて良好にして貯水池の如きも現在五百萬立方尺の給水有効貯水量を有し現在一日の給水量と對比せば餘融綽々たるものありと

輕鐵施工調査

朝鮮輕鐵會社の經營にかゝる釜山慶州浦項大邱地方敷設の計畫なる軌道は已に認可の申請を提出したるが一面又種々障碍あるも事實は著々進捗せしめつゝあり慶尙北道廳にても起工認可あり次第實地施工調査をなす方針なりと

大邱高女校舍進捗

大邱府立高等女學校は衛來新築校舍の工事漸次進捗し既に其の半ばまで成り來る三月三十一日竣成の豫定にて新學期四月より開校し一二學年の生徒九十名を募集する由殷地校舍の經費は一萬三千八百四十五圓の豫算なりとの事なれば定めし完全なる校舍なるべしと

南浦發著貨物

例年正月以降は發著貨物著しく減少するを例とするも本年は一般經濟界の順調に復したると暖氣甚しき爲め客年十二月に比し遙かに發著共貨物多き傾向を呈せり發送の重なるものは食鹽叺米等なるが食鹽は重に鳥致院金泉永洞等に仕向けられ叺は新嘉以北新東龍間各驛へ米は新義州附近海城沿線等にしてハルビン輸出は十七日百叺發送を以て本年の嚆矢とし引續き取引を繼續する見込なり到著貨物は結氷の爲め寺洞無煙炭の輸送著しく減退したりと雖も久原鑛業所著の金鑛石及び大倉組に於て新安州より買入れの鐵鑛石多量到著するあり又近來神戶を經て亞米利加の廻著稍見る可きものあるを以て活氣橫溢の感あり之れに伴ふて綿絲綿布の移入も頗る好況にあるが如し

平壤商議稟請

平壤商業會議所設立關係書類は平南道廳に於て審理中の處既に完結したるを以て總督府に向け廻附したり

釜山穀物市場總會

釜山穀物市場にては二十日午後六時半より待合亭に於て定時總會を開會なし大正四年中の賣買狀況及び賣買商其他決算報告をなし宴に移り組合員一同各新聞記者等十二分の歡を盡し十時散會せり

北鮮より

咸北の鱈漁業

咸鏡北道の鱈漁業は二三年來長足の發展を爲し明太魚と共に北道の二大漁業と稱せらるゝに至れり而して大正四年は春秋二期の漁業共稀有の豐漁なりしと製造開鱈の高價を唱へし爲め勞斯業未曾有の盛況を見るに至れり今其漁獲高製造高に就て水産組合淸津支部の調査を見るに鱈延繩は內地卅一隻朝鮮人四十五隻にして其漁獲は淸津樫津雄基西水羅等にて漁獲高八千百五十圓也又秋期漁獲高は一萬三千六百七十四圓にて其漁獲物は大部分淸津近海なりとす次に鱈角網は淸津八帳梨津三帳西水羅十八帳にて春期漁獲高淸津二萬四千四百六十八圓西水羅二萬五千圓なり同秋季漁は淸津に九帳にて五千二十一圓の漁獲高あり以上漁獲高の中開鱈に製造せるは春秋二季淸津雄基西水羅檎津梨津等にて製造總額計四十四萬六千三百斤四萬一千百五十圓に達せり相場は春期無頭物十貫苑八圓八十錢乃至九圓三十錢有頭物七圓乃至八圓八十錢にして前年同期に比し八十錢乃至一圓九十錢の高價を示す秋季製造物は有頭物九圓乃至十一圓にして前年に比し三割の昂騰を示せり而して之れが輸移出先は大部分神戶にして昨年頃より小部分間島輸出を見るに至れり神戶輸出品は更に同地仲買人の手にて南支那地方に輸出されつゝあるが地方商人は目下南支那と直取引の計畫中なり尙ほ北鮮開鱈は之を北海道産に比するに遜色なく市場に於て聲價を博しつゝあり

▲露貨下落趨勢

昨秋以來露領出稼朝鮮人の携帶歸來せるもの及び國境より輸出生牛の代金として受領せるもの等咸北道に流入せる露貨勢から其額百萬留以上に及ぶべき豫想なるが此等露貨は當然市場に流布せらるべき筈なるに事實は之れに反して國境地方一部を除くの外は昨今正月前物資需要期と共に市場に出廻るもの益々減少の傾向なるが之れ露貨五十二三錢替にまで暴落せるを各地收穫物尙ほ現存して居る要品の購入に充當しつゝあるが爲にして露貨を包藏して價額の恢復を俟つもの如きも露貨下落の趨勢は戰爭の延長に連れて漸落する順路に出でたれば戰爭の終熄せざる以上今後恢復の望み無く其の間之を死藏するは金融上多大の不利益なるを以て何等かの方法を講じて之れが流通を計るは地方經濟の爲め緊急事なるべし

▲銀銅鑛の採掘 間島天寶山

銀銅鑛は明治四十一年以來日支間の懸案にして支那官憲は爾來同山を封鎖しありしが昨年滿蒙新條約の實施と共に兩國の交涉は著しく進捗して前日本側權利者は其權利を滿洲大興合資會社に讓渡し同社は亦た支那人と採鑛會社を成立せしめ支那政府は愈々齋藤同社に採鑛の許可を附與したれば同會社は本春解氷と共に採鑛に著手の筈にて既に大興合資會社より調査の爲め出張し來りし梅村技師一行は目下其準備中なるが採掘したる鑛石は同所に於て精煉して搬出する計畫なりと(元山)

連絡船上陸客

廿日午前釜山入港高麗丸一二等客 一等(三名)小野義雄、伊東清七郎外人二名、二等(三十七名)林田金次郎、中野轟太郎、東條たか、[illegible]、椎葉安吉、川村政一、吉田とみ、矢島三同ちゑ、同みち子、同彌枝、福永ちの、矢島す之子、山本敏巳、加藤いく、許斐光三郎、林賢見動三、井野勇太郎、同桂太郎、同よね、同藏、同宋代、原源三郎、國孫六、伽理一郎、逸見同隣次郎、北村卯之助、河野迦平、青山なつ、同とし、同喜志、秋山秀雄、三等(百廿七名)

廿日午後釜山入港弘濟丸一二等客 一等(二名)齋藤芳太郎、本田規吉 二等(九名)高良武香、淺岡次郎、本田常吉、同俊、小森燈間、酒句虎之助、丸山增次、伊藤昇、三等(六十八名)

入院隨意(診療夜九時迄) 泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病 專問 永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話四一九一番

大邱の掏摸團

大邱南龍岡町一ノ居住李明突事綾名某(二九)なる部下を率ゐて大邱南城町を徘徊し近傍達城郡北面の李柄根が通…

牲豹を生捕る

江原道金化郡遠東面內城洞農崔順は…

豫報 廿一日午後十時三十分發 京城一月二十一日午前六時 一般 氣壓 …低氣壓は七百五十六耗 …警戒 區域全部
京城 最高 二十三度二分 最低 零下…

商況

東京債券現物特電

二十一日出來値段(前日との比較)	
東洋拓殖	七一、五〇
日韓瓦斯	
朝鮮銀行	一五九、〇〇
朝鮮瓦斯	
南滿鐵道	一四九、〇〇

東京公債直取引 (特電)

二十一日出來値段(前日との比較)	
五分利特別	九六、一〇
五分利津	
四分利	八二、九〇
四分利二回	八三、九〇
五分利	九五、一〇

深川在米特電

二十一日現在高	
朝鮮米	一七、七五一
外米	八、八〇九
內地米	二、七三六(?)八三六

東京期米特電

廿一日前場	二月限
寄付	一三、八三
高値	一三、八七
安値	一三、八〇
止め	一三、八五

大阪株式特電

昨後場以來今前場に亘り一路上向き

種類	拂込額	前日比較	前場
宇治川水			
神戶電			
京阪			
阪神電			
南海			
日本綿			
合同紡			
大阪商船			
東洋汽船			
日本郵船			
大阪米穀			
東京株			
大阪株式			

大阪三品特電

大阪期米特電

二十一日前場		
一月限	一二、九三	一二、九〇
二月限	一二、〇〇	
三月限	一二、一〇	一二、一七
四月限	一二、一六	一二、二五
五月限	一三、三〇	一三、〇〇
六月限	一三、五〇	一三、四〇

下關期米特電

▲二十一日前場	
當限寄付	一三、七五
中限寄付	一三、九六
先限寄付	一四、七二
	止め

賣買停止

朝鮮物産特電

品名	價	品名	價
馬山改支	一三、〇〇	釜山大豆	
慶州改支	一三、〇〇	浦項大豆	
木浦改支	一二、一〇	元山別大	
群山特改	一三、二〇	端川背	
同龍改支	一三、二〇	城津大豆	
仁川改支	一二、二〇	龍山大豆	
南浦改支	一二、二〇	長湍大粒	
釜山上白		岑城大豆	
釜山中白		仁川小粒	
釜山並白		宜川大豆	
仁川上白		平壤大上	
仁川中白		群山大上	
仁川並白		木浦大豆	

雜報

製粉愈々下落(內地)

製粉市況は相變らず沈靜持合を持續し更に捗々しき商談出來せざるが大勢に於て各地の在荷は益々拂底の傾向あり一面には舊正月も接近し來れる爲め早晩新規買を促すべき模樣なれど米價は其後一高一低の成行なる現狀にて目下の製粉市價の割合よりすれば格高なれば兎角に軟弱の歩調を脫せざる事とて居りし處

多小下押を示し

たる爲めに相當の需要を喚起せし

相當の需要を喚起せし

めて而して後徐々市況の回復を見るに非ずやとも觀測する者あり尤も關東三社は一、二月物に對して相當に賣物出來し居るより此際値下を爲す意向は絕無の姿なるも地方出荷の捗々しく行はれざる結果として或は問屋筋の賣崩したを見ずとも限られず殊に市場の硬派と目せられ居る鈴木商店筋に於て強硬商店等が邪々賣進みを試み居るより際

多少形勢の變化

を想像するに難からず其せるより失態增收せるため日本製粉十八日の夕刊より五錢安を發表し東亞製粉も之れに追れんとする形勢なりき

●金物類と眼先

▲洋鐵 昨年末の高値を名告げし洋鐵も其後引續き低落して市價今日の底辛ふじて持合ひを維持せるが正月は例年の閑散月なるを以て手持過ぎの反動として眼先は依然軟弱免かれ難しと雖し尤も **米國相場は依然強氣の一方を報じ** …取急の如くならざるが如きも市中値段標準は無論下値に落ちるべし **其引下げ程度** にも自ら限あるべく…在荷品の多少賣行きの狀態及昨年中…

確實 仁川海岸町 取引所仲買人 廣岡 迅速 電話 六一五番 六二〇番

▲洋釘 昨年末に比し七分四厘方の **三圓九十錢安** … **十圓處は動かさ** れ… **約二十圓下げの百** … **三及二吋一吋半** … **二吋一吋四分** … **三種共に二十一圓** … **二十錢の同値** と… **之が原因** は昨年末の高値…支那方面より輸入ありと內地製釘所の製造能力の增加せし一面には多少輸入さるべき筈なるも…

▲浪平板 は二十日より二十錢 **方の値下** を行ひしが今朝大阪情報によれば **厚番物** は相當入荷ありて… **浪板** に對する最近 **本國入電** 波止場上げ下値も… **比較的遙に安値** …

▲針金 は亞鉛引二十六番にて昨年末より一圓以上の値を告げ其他番手によつては **一圓以上の値** 開きあり

鐵葉板 は相變らず其他の銘柄にて

銑鐵 又鑄物用含み模樣なり

一定期賣買の業務御依頼御引受仕候 田中金物店 電話長一六二八番 一五二二番

●染料は亂調 當地加工染料

の昨今は市況頗る亂調にして手拾筋は各自勝手の言値を唱へ同一品にても人により二三十圓方の値開きあるが如しと雖現在卸賣取引の行はるゝ値段といへば **黑及ベンゾーの百二十圓** **蝙蝠淺黃の四百圓** 、 **ベレンス二百圓處** (約八九倍の價格に比し前に) 上りとなり **昨冬來より倍額** するもの **或は三四倍に達** するものあり最近斯くも急騰を告げしは昨春來の染料暴騰に乘じ地方散在品を各主要市場に吸集せしと仁川仲山の各工場が…

仁川現物市場

郭山粟 二二一叺 島山白米 五八叺
汶山粟 一五四叺 島山白米 八三叺
島山白米 三四叺

仁川期米

▲販入津四五百俵 氣配依然安人氣
▲正米入津中白米一二百叺 氣配依然軟弱の唱へなるも賣り腰せず依然見送りの狀態
▲大豆入津 少なし氣配變らず保合

市場零聞

▲二十一日前場 一錢安の入 (大阪)

前日寄付十四圓七十二錢と昨日より **一錢安** にて寄付… **大阪六節六** … **十四錢と安移** …

▲前場の商戰

…

▲前場下押跡返す

大阪變らざる入電に十一圓十八錢と **十錢と崩れた買** … **物多く徐々に十七錢**

▲跳返す

…大阪筋安の機に投じて… **底強き** …

▲又復保合乎

…

振合に此邊保合

…

繰り返し買物の潜み居る

…

▲大寒入り雨

…

現象に古來未曾有

…

●地場精米の昨今

…正米のやうに不勢なる賣行き…

各地商況

○木浦(十九日の穀物) 日來正月前中位は…

下關相場

…

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長三二一七三九 …

京城正米

…木浦米百叺、群山米三百十七叺、…

舊節季の切迫と共に賣物一段の增加

…なしとも限らず…

安物は單に必要か割

…

南大門の廻米

大邱粳豆	七四叺	鳥致院粟	五七叺
平澤玄米	二四三叺	東豆川粳	八八叺
鳥山玄米	五三叺	平浦粳白	一三叺
諸政府粳	八九叺	水原白米	八九叺
鳥致院粳	一四叺	汶山白米	一七叺
鳥致院白	三一叺	金村白米	三五叺
鳥致院小豆	九四叺	鳥山白米	八〇叺

仁川米豆取引所

二十一日の三月限

前場		平均値段	
寄付	十一圓十八錢	一節	十一圓十七錢
高値	十一圓十七錢	二節	十一圓十八錢
安値	十一圓十八錢	三節	十一圓十四錢
止〆	十一圓十錢	四節	十一圓十三錢
出來高	一萬八千二百石	五節	十一圓十六錢

賣買取組高

一月限	二百石		
二月限	四千三百石		
三月限	二萬五千四百石		
出來	値比較	前日と比較	
二十日後場			
一月限	一一、一七	一	高
二月限	一一、一八	一	安
三月限	一一、一二	三	安
	一一、二〇	〇	安

家庭の絕好讀物

伯知・如燕講演 御前講談 定價七十五錢
近世維新社會の梁斗たる故松林伯圓、桃川如燕の二氏が、嘗て畏くも先帝陛下の御前に於て口演したる楠正成、楠正行、長篠籠城、鳥居強右衞門、山內一豐の內室、木村中納言、伏見地震加藤淸正、木村長門守、中山大納言の八種を收む。

山路愛山著 乃木大將 定價八十五錢
愛國誠忠の武人乃木大將が愛山先生獨得の手腕にて記傳したるもの、大將其の人の全生涯を論叙し、大將の水師と旅順月とを餘蘊なく發揮した所。是に大將の高風清節と、眞の面目とは、自ら紙上に躍如たり。一讀卷を掩ふに堪へざらしむ。

村上浪六著 八軒長屋 定價二圓五十錢(全三冊)
是れ一種の人間學也。戀愛小說にあらず、探偵小說にあらず、實に浪六氏一流の俠骨せる人間學的小說也。千卷の狗學書も之には及ばず、萬卷の倫理消德學書も此に逃るゝ能はざる趣味ある人間學を躍如描寫せる者也。洒落消潑の裡に一道の眞理在り。

德富蘆花著 自然と人生 定價二十五錢
自然と人生は著者が自然の活潑に接して、得たる靈感を一新ぜんと欲する者に、試みに本書を一讀せよ。自然は如何にして人生に快樂を與ふるかを知らん。收むる所、小說、寫生帖、湘南雜筆、風景畫家コロオ、吾等は自然に歸せる五分時、自然に對する五分時。

德富蘆花著 青山白雲 定價二十五錢
自然の美を謳ひ、人情の眞を寫したる敍情的散文詩也。收むる所、湖畔の詩、恐ろしき一夜、青山白雲、夏の夜語、歸る小說、老梅、土曜日の秋、水國の秋、夏の山路あり。文は恰も雲の如く、讀み行くうちに身は自ら、畫中の人となり、恍惚として自ら忘るゝの感あり。是れ天才の作品也。

德富蘆花著 不如歸 定價四十五錢
日本唯一の家庭小說にして、既に百三十九版を重ねたるにて其の風評を知らるべし。「伊香保の蔵狩」「逗子の濱邊」「山科のステーション」等幾たび讀むも泣かずには居られず。著者が賣版の卷頭に曰く「不如歸は浪さんが自ら讀者諸君に語るのである」と。

德富蘆花著 青蘆集 定價二十五錢
先生の文を讀む者、必ず一種の靈氣を感ず、是れ其の想の高潔にして、其の眼の透徹せるに依る。本書は筆力最も張りたる先生の小品文を集めたるものにして、五分時の夢、除夜の物語、新居の記、零砕、詩魂心の記、仲助七兵衞、眼鏡、名勝、甲州紀行、ペイ國の日曜、雨の水國、晚秋の秋、吾が刹那の自然雜錄あり。

馬場恒吾譯著 獨探日記 定價金五十錢
最近歐米の讀書界を風靡し、天下の大好評を博したる大奇書にして、國務に勃興したる名將の一子が波瀾曲折を極めて獨探となり、カイゼーの爲め、獨逸政府の爲め、世界の軍國要路を股にかけ、世界政局の秘密を危險なく發揮せる小說以上の好讀物也。

早川貞水講演 赤穗義士 定價四十五錢(全一冊)
最も信頼すべき資料を基とし、良水獨得の快辯を以て、日本武士道の精髓たる四十七士の面目を躍如たらしむるもの、平易通俗にして而も芳烈悲壯なる言句、人を感じて感奮興起せしむるに足る。九鼎寸斷の思ひあらしむ。各階級家庭の好讀物たるに適す。

發賣所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 ▲郵送料本社負擔▼ 振替京城三〇〇番 電話六六〇番

越後大評定

第百七席 早川貞水口演

彌二郎若紫に對面す

そこで若い衆が出て來て『此方へ』と云ふ、彌二郎笠を若い者に渡し、案內に從つて、御通りになる、四郎左衛門暫く經つて出で來り 四『是は入來つしやいまし、私が當樓主、三浦屋四郎左衛門と申します 彌『ア初めて御意を得る、拙者は越後高田の浪人關根彌二郎と申す者である、以後御見知り置かれて 四『ハア左樣入らせられますか、して御用談の儀は、 彌『他の儀ではござらぬが、我主家に甚だ申し上げ惡いことではあるが、惡人蔓延り、是非なく此方その惡人のため、御家を浪人いたし、江戸表に罷り出で、主家の御容子を他所ながら守護して居る、然るに御當家抱へ遊女若紫太夫と申す者の許へ、近頃若殿三河守綱國殿、しげ〳〵御通ひ遊ばすとのこと、決して御通ひ遊ばし、金錢を御使ひなさるのを、兎や角申す譯ではないが、此若殿の御身の上に就て、聊か考へる所もあるから、是非その若紫と云ふ太夫に、面會いたしたいので御坐る、貴殿の御許しを被り、其遊女に對面が能ひますれば、彌二郎誠に滿足の至り、御貴殿を男と見込んで願ふ拙者、御會はせ下さらぬか 四『エ、御道理で御坐います、御武家樣が御主人の御家を思ひ、手前方の抱へ遊女に御會ひ下さるとは、よく〳〵の事で御坐いませう、本人若紫が何と申しますか、一言この事を申しまするそこで四郎左衛門が、若紫の新造を呼ぶ 新造は其處へ參り 新『旦那はん何ざます 四『此方は越後高田の御浪人で關根彌二郎殿と云ふ御方、花魁に會ひたいと仰しやる、此事を宜しくお前から若紫に話して其返事を早速申し上るが宜しい 新『さうざますか』と番新は立て往く、彌二郎腹の中で妙な詞を遣ふ奴だ所謂これが遊里詞と云ふのか知らぬと思召す 新『花魁へ 若『なんざますへ 新『いま越後高田の浪人で、關根彌二郎樣と仰つしやる方が御入來になつて、花魁に會たいと云ひなます、御內所で待つてなますが、何うしなますえ 若『然うざますが、私に會ひたいと言ひなますなら、此處へ御案內しなまし 新『そんなら花魁會なますね』と、番新は內所へ來て『旦那樣』、花魁が御客樣に會ひなんすから、何卒 四『左樣か、それでは遊女若紫が、御目に掛かると申しますから、御往で下さい、此番新が御案內いたし升から 彌『左樣であるか、然らば御免下され』禮儀を正しく關根彌二郎先生、生れて初めて花魁と云ふもの、座敷へ通るので御坐います 新『御武家はん此方へ來なまし 彌『ハ、ハツ 新『花魁來なました』其內に若紫は花魁姿でなく、實に何れの御樣樣かと思ふ樣な拵へをして、其席へ出て參り、 若『是は〳〵御初に御目に掛かります、私が當家抱の若紫と申する浮れ女で御坐います、以後御見知り置かれますやう』遊里詞を用ゐず優雅しく兩手を支いて名乘りました時に彌二郎 彌『是は〳〵、初めて御意得る 拙者は越後高田の浪人、關根彌二郎と申する者、早速御會ひ下され、千萬辱けなく存ずる 若『是は恐れ入たる御詞、姿に尋ねる御用とは、何事で御坐いまするか 彌『サア他の事ではござらぬが、御人拂ひを願ひたいが、如何で御坐らう 若『ハイ心得まして御坐います』

一月廿三日九星 舊十二月十九日巳未 本命二黒坤破赤は

[illegible]

演藝案內

本町一丁目 電話二六六 有樂館

力士浪花節綾瀬川山左衛門一行 松平長七郎の續き(吉田若秀)慶安大記の續き(桃中軒岳風)鬼若三次の秀廣(吉田若樂)寛永三馬術(吉川高丸の續き(綾瀬川)番外御好劍武術 特等六十錢一等五十錢二等三十錢三等二十錢

初日以來連夜滿員 他館にて見られぬ大寫眞!! 義士寶傳琵琶史劇 堀部安兵衛一代記 見落し勿れ!!寫劇の眞價實に此の寫眞に依りて紹介せらる 特別大興行 黃金館

新龍山 佐久良座 自然派劇一行 一月廿二日の初日替 △月城 全十場 [illegible]

壽町 電話一〇五〇 詩館 六日目演題 義烈百傑集(文右衛門)武士道の拳(駒吉)佐倉義民傳(香右エ門)水戸巡遊記(むら雲)五郎正宗(北海入道)櫻の吹雪(山本松子)バンカラ大將、船越三郎上下(長講一席燕左衛門) 大入御禮の爲め入場料特別大低減 一等金三十錢二等金二十錢三等金十五錢四等五錢外に下足料金二錢

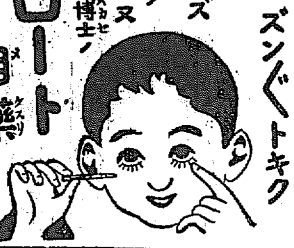
黃金町四丁目 電話二六三七 黃金館 一月十七日より特別大興行 [illegible] 堀部安兵衛一代記 [illegible]

明治町 電話二六〇番 浪花館 ○東京落語三遊派新部一行 [illegible]

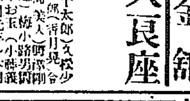
本町 電話五七八 壽座 廿二日替り狂言 大序より大詰迄し 柳生又十郎(鯉三郎)愛妾お玉(梅若)磯山住藤六(雷三郎)八重田重兵衛 端伴蔵(梅蔵)三味線屋歌五郎 但馬守(光十郎)將軍家光(雛太郎) 大久保彦左衛門(長太郎) 特等七十錢 [illegible]

御成町 電話一九一 御成座 二十日日替 一番目 琵琶歌 十一場 二番目 喜劇化地藏 [illegible]

櫻井町 電話八七三番 大正館 一月廿日より特別大寫眞提供 [illegible]



胃病新藥 マーゲン 胃病快治法(御申越次第進呈) 特約店 京城南大門通二 新井藥房 大阪上本町五 田畑保藥房


クスリはホシ 製劑四十余種各特約店にあり 東京京橋 星製藥株式會社

壽ゲートル!! 見本始進呈 大阪唐物町一 酒井商店

簡淨疎宕なる山川人物の描寫 明快透徹なる朝鮮側面の觀察

蘇峰學人著 平福百穗、山下鈎、鶴田樂村 柳田謙吉、前川千帆(五氏畫)

本書は著者が朝鮮併合(明治四十三年九月)より今年夏に至る迄、五箇年に亙り屢ゝ東京、京城間往來の際に成りたる文章を收輯したるものなり。著者の兩京間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈ゝ新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剰す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焔を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畫伯の繪畫は皆實境に臨んで描く所に係り、咄々眞に逼るの妙あり。其他各地の風景、名流の筆蹟等悉く本書の爲に特に撮影し、若しくは著者の爲に特に揮毫せられたるものにして、凡て三十二葉の多きに上り、製版印刷倶に異曲同巧の出來榮を呈し、著者の文章と對照して興味津々たり。裝釘は總クロース上製となし、表紙に朝鮮の古甕を打出し、表題は金文字を以て唐太宗帝書の古拓本より抽出したるものを用ふ。體裁清雅高尚にして眞に凡上の淸賞に堪へたり。今や節新秋に入りて燈火親む可し、請ふ幸ひに愛讀を賜へ。

記事內容一斑

◎沿道所見 新橋より京城(一…七)◎短信三片 [illegible] ◎朝鮮各地の觀察◎秋時一百五十里 [illegible] ◎一年兩度の櫻花 [illegible] ◎一年の好季節 [illegible] ◎避熱旅行 [illegible] ◎雙京漢往還 [illegible] ◎往來二千日 [illegible] ◎愛宕山記(子爵金允植記)◎雲養集を讀む(一…三)◎朝鮮統治の要義(一…十)合計十五篇一百三章二百七十四頁

繪畫寫眞目次

◎海峽航行中の著者(三色版)◎花慶州新羅武烈大王陵碑龜趺(寫眞版)◎北漢山(ジンク版)◎洗劍亭(ジンク版)◎漢江(ジンク版)◎子爵尹德榮氏別邸碧樹山莊より南山を望む(三色版)◎愛宕廳に於ける冷淡の生活(寫眞版)◎愛宕廳より仁王山を望む(三色版)◎淸凉里(木版)◎昌德宮秘苑(木版)◎山縣總監の自畫自贊(寫眞版)◎朝鮮街(木版)◎明石中將の自畫自贊(寫眞版)◎鮮人の天長節(ジンク版)京城獨立門畔城壁上の大銀杏樹(寫眞版)◎獨立門外磨寺の五輪塔と著者(寫眞版)◎諸名流筆蹟(寫眞版)◎鮮人の家屋(寫眞版)◎鮮婦浣紗(ジンク版)◎野田大塊翁の自畫自贊(寫眞版)◎鮮人の船(寫眞版)◎麻浦(ジンク版)◎大華亭(ジンク版)◎愛宕廳前人庭前の小集(寫眞版)◎子爵金允植氏の德富氏送序の筆蹟(寫眞版)◎故伊藤公自筆南山腳下の詩(寫眞版)◎朝鮮總督官邸に於ける寺內伯(寫眞版)◎寺內伯書故伊藤公南山腳下の詩及び跋語(寫眞版)◎寺內伯書和歌(寫眞版)◎寺內伯書鴨綠江鐵橋落成の詩(寫眞版)◎寺內伯書早發の詩(寫眞版)◎寺內伯書慶州懷古及び乙卯誕辰の詩(寫眞版)合計三十二種

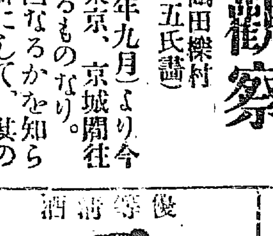
兩京去留誌

總クロース上製函入 定價金壹圓五拾錢

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 入院隨意 電話二六〇〇番

優等淸酒



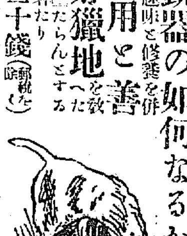
福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店 京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

イゲダ小兒病內科醫院 池田季雄 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一三〇四番 自宅八八〇番)

●特價發賣申込の好時● 銃獵之趣味 青坡吉村君潔著

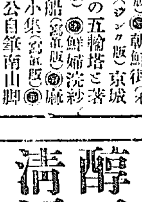
見!銃獵の手引=多獵を希望せん人= 朝鮮の獵地を知らんとする人

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり道は其の銃器を悉知せざるなり 本書は銃器の如何なるかを說き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり 獵犬の使用と善惡を說き 朝鮮の好獵地へたる處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり



定價四十錢特價金三十錢(郵稅共) 發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

醇良淸酒



仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

眼科內科 小兒科 入院隨意 京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番) 院長本田建義 本田醫院

開通御披露 電話五四二一番 印章版木ゴム印並ニ菓子型彫刻 守山安次郎 京城本町一丁目五三

金牌受領 上酒壹升に付四拾錢 卸價は特に割引可致候 淸酒美淋燒酎 釀造元 京城櫻井町一丁目 電話百七十七番 中井酒造場

汽車 [illegible]

京城日報

第三版

二十二日朝刊 (第三千七號)

本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金五十錢 … 廣告料 …
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 松口政太郞
發行所 太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用 長三四五番 二二四番 營業用 三八番 長六六番 振替貯金口座 京城三〇〇番

仁川米豆取引所

▲二十一日後場の入電 大阪前北六十六錢後安六十五錢 實地富中出來不中先十一圓十五錢

▲後場小堅し

▲下げ止り

後場寄付 十一圓十五錢 高値 十一圓二十錢 安値 十一圓十四錢

賣買取組高 一月限 二百石 二月限 四千石 三月限 二萬八千九百五十石

總督の諭告と吾人の覺悟

(十五) 道路の改修

一般産業の發達並に文化の普及を圖らむには、直接機關の必要なると共に、交通運輸の設備如何に俟つ所極めて大なり、道路の改修に付きては舊韓國時代に於ても其必要を認めざるにあらざりしも、具體的計畫の樹立を見たるは統監府設置の翌年にして主要道路三十線を選定起工し、其內二十二線二百五里を改修せり、然れども斯の如きは一小部分の改修を目的とせる細縫的道路政策に過ぎざるより、總督は併合の翌年を以て道路規則を發布し、軍事、政治、經濟上の見地より之れに一二三及び等外の四等級を附し、管理の主體を定め、築造、維持、修繕の擔當者を明にし、併せて道路修築の標準を規定せり、

一二等道路として指定したるものは全土に亘り合計九十五線、三千餘里に達せるが、運輸交通の狀況に鑑みて其內最も急を要すべきもの卅五線七百七十里を選定して明治四十四年度以降七箇年間の繼續事業となし、第一計畫として同年度より之が改修に從事し、其中三百九十四里の竣工を見たるのみならず、從來地方廳に於て假工事を施行したるもの七百八十二里に達せるを以て、之れに大正三年度以降五年度に至る三箇年內に國庫の補助に依り改修す可き一二等道路二十七線二百九里を加ふるときは、統監府設置以來大正六年度末に於ける改修總里數は實に一千九百六十七里に達す可し、而して殘餘一千百十三里中七百八十五里は第二期計畫として大正六年度より十箇年間に於て改修を竣はる可く、其殘部三百二十八里は將來地方資力の充實に伴ひ漸次改修の實を擧る豫定也又三等道路は道長官の申告により認可を與へて之を指定せるものにして、總延長三千四百五十里の中、大正三年末に於て既に一千九百二十三里の改修を了し、引き續き地方の資力と夫役の許す限り之が修築に努めつゝあり、此他沿道部落民の負擔に係る等外道路の如きも生産の增加に伴ひ交通思想の發展に連れ、進むで修築に從事するの狀況にして既に改修を了へたる里數また尠からざるに至れり

朝鮮の市街は道路概ね狹隘にして屈曲甚しく街衢不整にして交通外觀共に劣惡を極め、市街の發展を阻礙すること尠からざるを以て總督はまた之れが改正の必要を認め、或は國費を以て之を經營し、或は地方廳若くは府の經營に對して國庫の補助を與ふる等、大に其整理に盡し、所在地の住民亦た競うて之が經營に著手するものあり、之が經營に著手したる市街地は京城をはじめ鎭海、大邱、平壤、全州、咸興、釜山、鎭南浦、海州、晋州、開城、忠州、谷城、潭陽、光州、淸津の諸市にして就中京城の如きは大正二年以來昨年三月末に於て七十二萬五千餘圓の經費を支出し總延長三百六十一間の改修を了へたり

支那の鐵道 (六)

蕪湖寧國府線

蕪寧線は蕪湖寧國府間の鐵道にして此線は一九〇九年安徽省政府が英のボーリング商會に權利を附與せるものにして借款は約四十萬磅の豫定なりき。尙ほ此線路は寧國府より屯溪まで、及び寧國府より杭州府まで約百七十哩の延長線を敷設することゝし、總額百六十萬磅の外資を輸入する筈にして中央政府は此の計畫を許可せるも未だ工事に着手し居らず

滬杭甬鐵道

滬杭甬鐵道とは上海より嘉興を經て杭州に至る百十八哩の既成線と、杭州より寧波に至る百哩の未成線とを稱す。

始め京漢鐵道の敷設權が白耳義資本團に與へられ、佛國も亦之に關與し居る事の傳へらるゝや、英國は浙江省に於ける鐵道敷設權を獲得して佛國の得たる利權に對抗せんと欲し、豫備契約の調印を見たりしも、一九〇五年に支那政府の態度急に一變して政府は英國資本團の權利を自國人に附與したり。玆に於て英國の抗議となり、其結果支那政府は中英公司との間に百五十萬磅の借款を結びたり。其條件は津浦鐵道に於けると同樣なりしも、此時に當り此線敷設の目的を以て二箇の支那人會社組織せられ、即ち一は資本三百萬弗の江蘇鐵道會社にして上海楓涇間約三十八哩を敷設するを目的とし、他は資本五百萬弗の浙江鐵道會社にして楓涇より杭州まで約七八十哩の敷設を目的とせり。中英公司が敷設權を獲得せんとするを見るや兩會社は抗議を試みたれども、政府は一九〇八年に中英公司との間に江蘇浙江二省の政府の稅金と北部諸鐵道關內外線の收入より生ずる剩餘金とを擔保として百五十萬磅の金貨借款契約に調印したり、玆に於てか英國會社の要求と前記支那會社の要求とを調停するといふ難問題を生じ結局支那會社は政府より二回に合計千七百五十萬弗の[illegible]を受くることゝなりて工事を竣工せしむるの妥協を見たり前記二會社は事實上借款の一小部分を使用したるのみにして本線は殆んど支那の資本と技師とにより建設せらるゝものと稱するを得べし

第三十七回帝國議會

貴族院 (二十)

貴族院は二十一日午前十時五十五分開會諸般の報告あり直に日程に入り

一、郵便法中改正法律案
二、鐵道船舶郵便法中改正法律案
三、電信法中改正法律案
四、海底電線保護萬國聯合條約罰則改正法律案

を一括して箕浦遞相の說明ありて委員附託

五、國庫出納金端數計算法案
委員長德川賴倫侯委員會の經過並に結果を報告し原案可決

六、道路局設備擴張費に關する法律案
委員長靑木信光子委員會の經過並に結果を報告し異議無く原案可決

七、假出獄法中改正法律案
委員長德川賴倫侯委員會の結果を報告す

▽目賀田男 本案は重大議案なるを以て今一應政府の意見を承はり度しと問ひ

▽武富藏相 本案は貿易上の便宜を圖らんとするに在り而して歐洲には其例無きも米國には實例ありと簡單に答へ次いで

▽橋本辰二郎氏 は目賀田男の質問趣旨を敷衍して質問し松本主稅局長の答辯あり二讀會に入りしのみに止め

八、國字國文改良に關する請願の議題に入り谷森眞男氏は高田文相の出席を求め政府は國語國字改良に關する經費を要求せられたるが果して如何なる確信ありやと問ひ

▽高田文相 行政整理の結果國語國字改良調査機關を廢止したるも教育調査會の建議もありたるにより該經費を要求せり幸ひ協贊を得ば目的の遂行に努めんと答へ次いで久保田讓、石黑忠悳男の反對あり高田文相の辯明あり

▽平山成信氏 は當局にて國語國字改良調査機關設置の議あらば本請願は採擇の要無しと述べ不採擇に決す此時德川義親侯日程變更の動議を出し假出獄法中改正法律案第三讀會に入り原案可決

九、恩給法中改正の請願
十、米價調節に關する請願

は一括して委員長報告通り採擇に決し午前十一時散會せり

◎豫算總會

貴族院豫算總會は二十一日午前十一時二十分開會

▽石渡敏一氏 の外債償還に關する質問に對し

▽武富藏相 は政府は今後十年を經ば約五億圓以上の外債を償還する計畫にして大體に於て漸次減償する方針なりと答ふ石渡氏は外債全部償還不能なる時は右借替を爲さゞる可からず此の場合減債基金を增加せずして其目的を達し得るや否やと質す

▽武富藏相 今日豫斷し得ざるも歐洲戰終了後と雖も十年間位は今日の狀況持續するならん又減債基金を增加せざるも目的は達し得らる可しと答ふ

▽石渡敏一氏 果して然らば今日に於て鐵道費金二千萬圓を一般會計よりの借入を廢止するが良法ならずやと述べたるに藏相は前數回答辯せると同樣の答辯を爲し次に田健次郞男と藏相間に佛貨公債買入償却と英貨公債償還に付き問答ありて午後零時二十分一旦休憩

午後一時十分再開外交質問に入り

▽田健次郞男 滿蒙內地に於ける我警察權の實現は日支協約以前に比し宜しからず是れ我準備不足の結果ならずやと問ひたるに

▽大隈首相 は日支協約の結果我警察顧問を雇入ることに決し必要に應じて領事館及び分館を設置する事となしたるも未だ實施に至らずと答へ次いで石井外相より詳細說明あり尙ほ日支兩國に關係ある警察合に就ては目下彼我交涉中なりと答ふ田健次郞男さらば合辨裁判の交涉經過如何と質し

▽石井外相 右は目下手續中にして成立の時期未定なるも成る可く完成せんことを希望し居れりと答へたるに男は更に土地權得權に關し質問し外相は目下我要求の大部分は承認しつゝあり租界に就ては既に決定せりと答ふ

▽田健次郞男 は更に支那帝政問題日貨排斥日英同盟のこと等を質し石井外相一々之に答へ次いで

▽奧平昌恭伯 登極政府が帝政延期勸告を發したるは十一月なるが之より先き大隈首相の帝政贊成論新聞紙に掲載しあり首相の意見と政府の意見と個々別々となるは何故なるやと問ひたるに

▽大隈首相 余は新聞の記事に就きては一々責任を有せず帝政に就ては國民の動搖を來すを恐れたるに由ると答へ田男は新聞の記事は其意味と相違せる者ありやと質す首相は彼の記事は斷片的の談話を集めたるものにして多少の相違あるも別に取消す必要無しと答へ尙ほ二三の質問應答あり次いで

▽水野錬太郞氏 支那帝政延期に關する質問ありて午後三時三十分秘密會に入り同四時三十三分散會せり(東京特電)

帝都より

◎露國皇叔ジョルジュ太公殿下の親しく日本を訪問せられたるに就き露國新聞は一齊に其の政治的意義の重大なるを指摘し、且つ此の機會に於て露國の誠意ある友情を披瀝して歐洲戰爭開始以來日本の援助したる好意に對し滿腔の謝意を表して極東の問題は其の利害關係最も深き日英露三國の密接なる協力を要し、日露同盟說の如きも更に新らしき贊成者を生ずるに至れりと論せり。

◎日露同盟の必要は歐洲の戰爭勃發以來兩國が漸次親密の度を加へたるが爲めに主張するものにあらず東洋の平和を維持せんには日露の同盟必要なるは識者の夙に認むる所なりき

◎されば同盟は兩者互に其の國力を認識し其の國民性を了解し又其の利害休戚を同一にして相信賴するにあらざれば成立するものにあらず

◎故に如何なる場合に於ても其の同盟は片務的ならずして相互的ならざる可からざるは論を待たず、換言すれば其の同盟條約によつて利益を享受するは雙方とも平等均一にして他の一方に厚く他の一方に薄きが如きことなきを第一の條件とす

◎若し日露同盟を主張する[illegible]る目的は相攜りて以て他の勢力に抗敵し又防禦せんと欲するにあらず日露兩國の二大勢力を一束とし東洋の平和を永遠に維持せんと欲するに外ならず

◎日露同盟を以て獨り日露兩國の利害を顧慮するものと思ふは誤りなり日露同盟は支那の利益にして又列國の利益ともなる也

◎世人或は云ふ、東洋の平和を維持する目的に對しては既に日英の同盟あれば此の上更に日露同盟の必要なかる可しと、されど日英同盟にては我が大陸國防上最も大關係を有する滿蒙問題を如何ともすること能はず、此の問題を解決し東洋の平和を維持するには日露同盟の必要あり、而して時機は今や其の機の漸く熟しつゝあるを認むる也(二十九日)

蘇運河會戰期

某瑞典參謀談に曰く頃日來行動を開始せる土、獨、墺聯合の埃及遠征軍は失敗せる前轍に鑑み[illegible]比較的不要なる鐵道を破壞運搬しエルサーム前方蘇士兩方面に軍用輕便鐵道を敷設し前進準備着々進捗し前線は既に運河を距る二十邦里の地點に達し前哨は最早埃及軍の前哨と諸所に衝突せるが如し而かして遠征軍の作戰は此の附近一帶給水に不便なるを以て二三四月頃を以て一大決戰を試みんとせるが如きも此の附近は沙漠地帶なるを以て大軍の行動多少の困難を免かれざるにより大部隊の衝突は二月中旬以後に於て行はるゝならん又埃及軍は運河の維持に全力を傾注しダ海峽遠征軍の一部も亦參加する事疑ひなければ、英埃及軍には海上掩護の利益あれば三國聯合軍が如何に强撓くも運河を攻略するが如きは斷じて不可能ならん然れども衝突の場合同運河の閉塞は免れざるべきか

壹圓以上 御購求の諸君は平素御引立の御禮として 送費無料 猶壹割引 破格大提供!!

●各種學校受驗準備者の教導!
▽成功の鍵 ▽學海の燈!!!

森一谷著 最新化學講義
森谷一著 最新物理學講義
菊判クロース綴 全一冊美本 正價壹圓五拾錢 郵稅二十錢
東京數理學會講述 化學講義
足立理學士述 物理學講義
菊判クロース綴 全一冊美本 正價壹圓 郵稅拾六錢
宮本理學士述 算術講義
福原宅治著 最新算術講義
田中理學士述 最新代數學講義
福原宅治著 新式中學幾何學講義
同人著 新式中學代數學講義
藥師寺著 新式中學三角法講義
林先生述 平面立體幾何學講義
菊判クロース綴美本全一冊 各 正價八十錢 郵稅拾四錢宛
眞島理學士述 應用化學講義
鈴木理學士述 實驗化學講義
篠原理學士述 解析幾何學講義
菊判クロース綴 全一冊美本 正價壹圓七拾錢 郵稅拾貳錢
東京數理學會講述 測量術講義
林理學士述 方程式論
菊判クロース綴 全一冊美本 正價六拾錢 郵稅八錢
西村豐述 東洋歷史
横山雨山述 世界史講義
林山崎農學士述 養蠶製絲學講義
菊判洋裝 各一冊 正價參拾五錢 郵稅八錢

▼受驗案應用正確 新撰答問全書 全部十一冊 特價八拾五錢 郵稅拾六錢
井上勤先生譯 訂正改版 六ヶ月間英語卒業書 ▼紙質精選印刷鮮明 クロース綴美本一冊 特價七拾錢 郵稅拾貳錢
宮脇節編纂 大高評!! 國語漢文讀書辭典 クロース綴美本一冊 正價八拾錢 郵稅拾四錢

大築理學士述 萬國地理講義
高橋先生述 日本文典講義
德光法律士述 商業概要
吉田理學士述 博物學講義
柴野理學士述 植物學講義
杉文學士述 國語講義
中西先生述 支那語講義
山上理學士述 地理講義
菊判洋裝美本各一冊 正價參拾錢 郵稅六錢

鈴木文學士述 日本文學史
石川遼合著 日本地理對話
齋藤先生述 教育學講義
泉文學士述 倫理學講義
近藤法學士述 法制講義
松波農學士述 農學講義
熊谷農學士述 園藝栽培法講義
安達先生述 水產學講義
生野工學士述 工業大意
小磯先生述 簿記學講義
關本先生述 算術講義
同人述 理科講義
藤永醫學士述 生理學講義
同人述 衛生學講義
今泉先生述 日本歷史講義
吉田理學士述 地質鑛物學講義
荒井先生述 露語講義
菊判洋裝美本各一冊 正價貳十五錢 郵稅六錢宛

好評三版發行 中等百科辭典
法學士 西田稔 農學士 青木信一 文學士 堀田璋左右 工學士 生野團六 理學士 根津千治 以上五學士編
◎修身●哲學●倫理●心理●論理●教育●法制●經濟●國語●文典●漢文●日本外國地理●地文●東洋西洋歷史●數學●地質●代數●三角●平面立體幾何●算術●測量●動物●植物●鑛物●生理●衞生●物理●化學●農業▼商業▼其他::數科目:::
三六版クロース綴函入美本 全一冊紙數約二千頁 定價壹圓五拾錢 郵稅拾六錢 ◎特價壹圓
本書は右記中等諸學科の全般に涉り、あらゆる中等教育の教科書及び參考書に就きて事項及び術語を摘出し之に最新の適切簡約なる說明を施したるものなれば中等程度の學生諸君には復習研鑽の友と也、小學校教員諸氏各種受驗準備者には自問自答の嚮導と也、一般人士には常用備忘の至寶無二の伴侶たるべし。
發行所 大阪市東區心齋橋筋博勞町 嵩山堂 振替口座大阪二二〇番

殺菌除蟲 サンソー液
サンソー液一樽と=害蟲菌一匹といづれが重大なりや? 果樹栽培家の大福音!― 害蟲の豫防は今この時!―
農蠶用諸機械並に肥料 三輪商會 京城南大門通三丁目 電話三八六番 振替口座京城三七五番
鐵工場 京城旭町二丁目 木工場 京城黃金町一丁目 戶田春藏

◎暗殺陰謀事件益擴大

一種の秘密結社＝進歩黨及び革命黨の關係＝犯人逮捕さる＝總統府内の戒嚴

暗殺團は一種の秘密結社にして本部は天津に置かれ進歩黨、革命黨何れも關係あり目下上海に在る孫洪伊が北京に在る間此れに就き運動せりと云へば帝政問題發生の頃に畫策せられしならん目的は毒殺或は爆裂彈にて袁總統を仆し段祺瑞を以て之に代へんとせる者の如し本事件に付き最も早く是れを探知せるは歩軍統領にて直に公式の手續を爲し押收證據物及び犯人を逮捕して軍司法處に送れり同處長は此事件の範圍廣くして重要人物の關係あれば寧ろ秘密の裡に葬るの得策なるを主張し檢擧者この間に大衝突起れり左れども既に公式手續を履みたる今日如何とも爲すを得ず續々犯人檢擧され十九日慶輝月外一名も終に捕縛さる總統府内は戒嚴令布かれ同府内使用人にして多少怪しと認むる者は續々解雇し居れり袁克文の媒仰なる某は府内に爆裂彈を運べりと噂せらる右の如くにて本事件は日々に擴大されつゝあり（北京特電）

◎奉天省内警戒嚴重

目下革命黨の奉天附近に入り込むもの日に〱多く段將軍は武器の輸送を檢査し電線及び鐵道を警戒し日本より歸來する留學生を物色し尚ほ密偵を増加せり而して過般革命黨員三名を捕縛したる探偵等に三千圓を賞與し宋警察署長に勳章を與へ彼等を激勵しつゝあり又段將軍は一方の危險を慮り近々護衞を増加し更に服心の兵士を前任地より徴發せんとしつゝあり恐慌甚だし（奉天特電）

◎回教徒の即位請書

奉天省金體の回教徒は趙德潤を代表者として袁總統に即位即行の請書を呈せり是れ段將軍等が手を廻したる爲なること勿論なり（奉天特電）

◎墺黑間戰鬪再び開かる

羅馬公報に曰く墺國と黑山國との間に戰鬪再び開始されたり（紐育電報）

◎太公殿下御退京光景

途中函根を御觀覽爲在らる

去る十二日御入京御即位大禮奉祝並に兩陛下に御奉呈の御使命を果せ給ひ市内各所を始め日光鎌倉の各名勝を御觀覽あらせられ又廿日夜は市内實業家有志の御案内にて帝國劇場に成らせられ日本劇を御觀覽あらせられたる露國太公殿下には御豫定の如く二十一日午前十一時三十分霞ケ關離宮御出門各隨員及び寺内伯以下の接伴員の供奉にて東京驛に成らせられ

兩陛下御使閑院宮東伏見宮久邇宮各殿下大勳位、國務大臣、露國大使波多野宮相等と握手を交させられ古川鐵道院副總裁の御先導にて近衞歩兵一個中隊の捧銃最敬禮せる間を特別臨時列車に乘御十時五十分御機嫌麗しく御退京函根に向け御發車相成りたり（東京特電）

◎中旬對外貿易

大藏省の調査に依れば一月中旬の對外貿易は輸出一千八百四十萬五千圓輸入二千百十三萬四千圓にして差引二百七十二萬九千圓の輸入超過を示せり（東京特電）

大阪經濟通信

▲佛國備船交渉 [illegible] しも更に埒明ず一時は立消とならんとせる有樣なりしが日本船主同盟會 [illegible] ば郷船より此程迄海軍御用船として使用され目下契約滿期にて修繕中 [illegible] 無かるべきも紹方圭造氏より三千噸級の者二隻備船の契約略成立したる [illegible] 由田宮政六堀川長兵衞等に於て下受け製造中なり期限の二月中迄には全部引受けにつき交渉中の處十七日第二 [illegible] 全部の完成を告ぐ可きにより其後の [illegible]

▲輸入杜絶の [illegible] きが自然の數なるに實原料たる洋鐵は愈々困却を感ずるに至れり [illegible] 沈されたる八阪丸の遭難の爲め其の [illegible] 十八日發表したりたれは東京相場八之れに連れ二十二圓三十錢を唱へ市況頗る低落し [illegible]

◎大禮官制廢止

二十一日官報を以て大禮使官制廢止の件大禮用に供したる建造物及び其の附屬物の讓與に關する件を公表されたり（東京特電）

◎陸軍更迭

二十一日陸軍大更迭發表ありたり其重なる者及び朝鮮關係者左の如し（東京特電）

第十四師團長陸軍中將 山田忠三郎
免本職待命被仰付
教育總監部本部長陸軍中將 栗田直八郎
免本職補第十四師團長
參謀本部總務部長陸軍少將 山梨半造
免本職補教育總監部本部長
參謀本部第一部長陸軍少將 尾野實信
兼補參謀本部總務部長
輜重兵監陸軍中將 足立愛藏
免本職補旅順要塞司令官
輜重兵大佐 小笠原健吉
任陸軍少將補輜重兵監
臺灣總督府參謀長陸軍少將 木下宇三郎
免本職補野砲兵第二旅團長
野砲兵第二旅團長陸軍少將 有田恕
免本職補臺灣總督府參謀長
陸地測量部長陸軍少將 伊部直光
免本職待命被仰付
工兵大佐 矢野目孫一
任陸軍少將補陸地測量部長
歩兵大佐 鶴見虎太
任陸軍少將依願豫備役被仰付
歩兵少佐 末松四郎
朝鮮派遣歩兵隊第一聯隊第一大隊長被仰付

◎寺内總督參内

廿二日出發歸任

露國御名代殿下朝鮮御通過より御滯京中接伴員たりし寺内總督は二十一日午前十時五十五分殿下御退京を奉送し十一時三十分參内御座所に於て拜謁仰せ付けられ御接伴終了の次第を奏上し同五十分退出せり尚ほ同總督は二十二日午後四時東京驛發歸任の由（東京特電）

◎露太公復朝鮮を經由せらる

寺内總督の同行＝京城御一泊

露國太公殿下接伴員寺内總督並に安達公使は二十二日午後四時東京驛發にて殿下一行と國府津に落合ひ京都奈良大阪吳等に同行し宇品に於て御一行と共に軍艦鹿島に搭乘釜山に上陸殿下は京城御一泊後哈爾賓に向はる可く總督は安東縣まで御見送りする由（東京特電）

雜報

◎朝鮮の教育と教員心得（八）

内務部長官 宇佐美勝夫氏談

▲教員各自の覺悟 第七項、第八項、第九項は主として、教師自身に對し、其の覺悟を注意せられたるものなり、第七項は教師が生徒に對する覺悟を注意せられたるものにして、教師の生徒に臨むや親愛と威重とを以てし、常に生徒の活模範たるを要することを示されたるものなり。教師の生徒に臨むや威重なるべからず。此の威重によりて教授訓練も嚴正に行はるゝものなり。威重無くんば威信立たず、威信立たずんば決して生徒を指導感化すること能はざるなり、故に教師は苟も其の威重を損するが如き行動あるべからず。又教師は能く生徒と親み、溫情春の如く、慈愛海の如きものあるを要す此の情によりて努めて師弟間の親和を繫ぎ以て感化薫陶の實を擧ぐるを得べし、世上往々嚴酷に失して師弟間の感情を阻格し、教師は生徒を叱咜するを以て能事と爲し生徒は教師を畏怖し、成る可く之に遠ざからんとするが如きもの無きにあらず、此の如きは徒らに威重の尊ぶべきを知りて親愛の重んずべきを知らざるに因るものと云ふべし、又或は餘りに親狎に失して威信立たず恰も教師と生徒とは朋友の如き觀を呈するものあり。此の如きは親愛度に過ぎて威重の要あるを知らざるに因るものと云ふべし、二者共に教育の効果を收むる所以に非ず、深く誡むべき所とす

▲子弟訓化の要諦 教師は常に親愛と威重とを兩翼とし、愛情を以て常に生徒の幸福を企圖し、賞すべきは之を賞し、罰すべきは之を罰し、所謂信賞必罰威重を以て之を遂行し、生徒を指導訓化せんことを努むべきなり。又訓化に於ては常に躬行實踐して範を示し、之に倣はしむるを以て最も有効と爲す。彼の言説の如きは價値極て少きものとす。故に教師にして生徒に實行を求むる所のものは必ず自ら率先して之を躬行するを要す。教師の言説と行爲との一致は極て重要のことゝす若し此の點に於て、苟も缺陷あらんか。生徒は決して之に服するものにあらず、随つて訓化も容易に行はれざるべきを以て、教師は自己の修養に力め、言行の一致を期し、常に生徒の儀表たらんことを期すべきなり。此の點或は特に教師を責むること酷なるが如きも、教職は國家の爲に人を養成するの重要なる位置にあることを自覺し、難を以て離とせず、自重自任するの覺悟無かるべからず。

▲任務と自己修養 第八項は特に教師の修養に對する覺悟を注意せられたるものなり、教育の事業たる國家百年の計にして、功を目前に求むることなく、徐ろに之を永遠に期するものなれば、教師たるものは教育を以て名譽ある天職とし、不屈不撓、斯業に殉ずるの覺悟ある往邁進し、教育最終の目的に向つて勇往邁進するを要す。是れ教師の特に重要なる操守を要する所以なり。又教師の任務は既に述べたるが如く、常國の忠良なる臣民を育成するにあつて甚だ重大なるものなれば、常に之を自覺し自ら任重、自己修養の足らざるを反省して發奮し、徐ろに進みて教育に關する百般の事項を研究し、之を實際に應用するのみならず、又一面には實際上の經驗を積み、之を實地に應用せんことを要す。教育を訓化の方面より觀る時は、人格感化なりとす、故に教師は常に自己の修養に努め、時に學藝の研鑽を爲し、向上進歩を企圖し、以て自己の重大なる責務を完うせんことを期すべきなり。

▲父兄郷黨と連絡 第九項は教師の同僚間並に父兄郷黨に對する教師の覺悟を注意せられたるものなり、教育の事業たる關係する所大にして、到底教師一己の力のみにては其の効果を擧げ難きものなり。學校には學之を單に學校内に限るも、幾多の教員あり、校長あり、同心協力によりて始めて學校内の事功を擧ぐることを得べし、故に教師は同僚互に親和一致し、私事を以て公事を疎にせず、至誠を以て相互に忠告し、善導するのみならず、能く同心協力して優良なる校風の扶植に努め、學校長の指示する所に從ひ、入學し來る所の生徒をして陶然として之に同化せしめ以て訓化の實を擧げんことを期すべきなり

◎支那實業顧問

支那政府は實業振興の爲め棉花の栽培及び製造に關して米人一名植林に關して米人一名又牧羊に關して歐人二名を各顧問として招聘するに決し既に訂約せりと（北京）

◎官製蔘精販賣

總督府製造の蔘精は今般半井板倉商店に一手販賣を許可し本年生產品も已に同京城支店をして發賣開始せしむることゝなれり

▲販賣所 京城南大門通五丁目五十九番地板倉支店

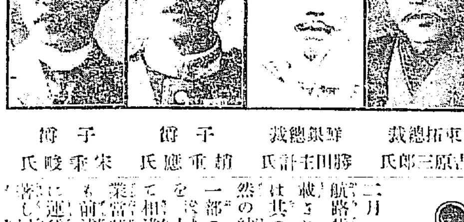
▲定價 内用蔘精十匁入金二圓、同五匁入金一圓、外用蔘精十匁入金七十錢、同五匁入金三十五錢

▲注意 近時蔘精又は人蔘エキスと稱する民間製造品各所に販賣せらるゝも本府製造蔘精は紅蔘專賣法により政府に於て製造し民間に製造を嚴禁せらるゝ紅蔘の製造と相俟て生產せらるゝものなるを以て全然其製造方法及品質を異にせり

◎京釜線改良工事近況

京釜線若木より龜尾迄間金泉に至る改良工事は昨年十月七工全部を竣成し軌道も龜尾約八哩間は若木川の鐵橋を除き全部敷設を了し龜尾より大新里間は本年五月迄軌道敷設を完成する豫定なるが其他の鐵材は昨年津輕海峽にて沈沒したる爲め間に合はず工事に遲延を來たし大新里金泉間はプレートガンダーのなき爲め工事着手する事能はざる狀態にあり尤も目下沈沒鐵材引揚中なれど是とても確なる見込立たず若幸にして一兩月中に引上げ得るとすれば工事も豫定の如く進捗し遲くも七八月頃迄には全部開通するに至る可きも先づ今日の所にては覺束なく工事中止は甚大なる打擊なれど致方なき次第なり要するに現狀にては竣工期を豫定する能はずと（大邱）

京城商議特別評議員



東拓總裁 吉原三郎氏　鮮銀總裁 勝田主計氏　子爵 趙重應氏　子爵 宋秉畯氏

◎泰川水利工事

東拓請負ひ感謝狀を受く

平安北道泰川郡城兩郡に跨がる東拓會社の水利工事は昨年十一月中竣工を告げ用水疏通以來地方農家の驚嘆する所となり同會社に於ては本年植付期までに少くとも灌漑地區の内約一千町歩を成功せんとの計畫にして目下着々進行中なるが元來該水利工事は之を三期に區分し順次起工したるものにして其内第二期及び第三期工事は本年五月末日を期限とし大倉組に請負はしめたるに着手以來熱心誠實を以て從事し作業精勵の結果豫定竣工期に先だつこと約六箇月にして完成し從て東拓會社は該事業の經營上便宜を得たるのみならず地方開發の促進上効益少からざるを認め頃日感謝狀を大倉組に送れりと

◎練習艦來航期

練習艦吾妻、磐手の二艦は既記の如く二十六日仁川に入港、乘組員は二十八、二十九の兩日に分れて京城を訪問の筈なり、山縣政務總監は上村司令官以下幕僚を招待す可く、又候補生一同に對して午餐の饗應を爲す可し

◎一萬燈擴張計畫

京城電氣會社にては現在供給電燈五萬五千燈に達し居れるも猶供給力に餘裕あるを以て此上更に一萬燈の擴張を行ふことに決し過日來募集に着手せるが頗る好況にして一日平均百件の申込あり之に對する工事は一日平均六十件なりと

◎鮮醫師試驗

來る四月二十日より朝鮮總督府醫院に於て醫師試驗を擧行せらるゝに付希望者は三月三十一日迄に願書を警務總監部に提出すべき旨官報を以て告示せられたり

◎運賃引上に就て

原田朝郵社長談

二月一日より實施す可き朝郵社の沿岸航路貨物運賃の一割引上は昔紙に掲載されし如く時局のため造船材料或は其の他船用消耗品の騰貴に伴ふ自然の結果にして決して内地に於ける一部の同業者が戰時なるが故に運賃を引上げたるとは大に其趣旨に於て相違あり現在の貨物賃金は當社創業當時よりのものにして今日迄も前述の如く各種營業費の暴騰と共に運賃を引上ぐ可き當然の運命に逢著し居れども種々の關係上今日迄延期し居たる次第なり之れを内地のレント、レートと比較するも昨年に於て一噸に對する運賃百六十志なりし際當社の運賃は六十志位なりしに徴するも如何に低廉なりしかを知り得べし故に時局に伴ふ運賃引上と云ふ一種の流行に倣へるものに非ざることは明瞭なり只命令航路に從事せる補助會社なるが故に一に交通の便に供し產業の發達に備へんとするに外ならず從つて今回平均一割の運賃引上を行ふとも一般の運賃に比ぶれば遙に低廉なるものなれば是れがため荷主の被る迷惑とては左迄なく會社も亦貨物の減少に由て來る損失等の打擊を受くることなかるべし

人事消息

▲工藤壯平氏（土地調查局調理課長） 歸省中の處二十一日夜歸任

▲小松謙五郎氏（忠南非務官） 二十一日入京浦尾へ投宿

▲森勝禮良氏（北海道水產試驗場長） 同上

▲島岡亮太郎氏（本溪湖煤礦公司總辦） 二十一日來京朝鮮ホテルに投宿

▲ラエレー氏（米會社長） 夫人同伴二十一日入京同上

不朽の三名著＝贈答品に適す

現代の活論語＝好評如湧＝三著とも增刷出來

三宅雪嶺 青年訓 正價壹圓 送料八錢
三宅博士の訓誡は片言隻語と雖皆現代青年の處世の箴言、修養の基礎なり。其活訓の精髓は本書に收む

森村男爵 自助 壹圓四拾錢 送料金八錢
實業界の元老、森村翁が平生の主張せらる獨立自營の根柢玆に明也

澁澤男爵 至誠と努力 壹圓廿錢 送料八錢
澁澤男が七十年間、人情の機微と世話の艱難を極めて得たる活修養法、活處世術は本書に詳細なり

發行所 東京市京橋南鍛冶町 榮文館 振替口座東京二四八〇〇 各地全國賣捌書店

破天荒五割引

營業品 □洋家具、窓掛一式 □裝飾品並に敷物

期間 自一月廿二日至卅一日（十日間）
右整理の都合上在庫品全部に限り前記の期間中破天荒の五割引を以て販賣致し候間多少不拘御用命被下度願上候

京城西小門通り 澤山商會支店 電話二二五番

新渡戸浮田兩博士執筆 每號掲載さる

實業之日本

□弱者の兵法……浮田博士
□新しい金持振りが見たい……中野武營
□東拓會社は大誤謬を一新せよ……瑨川生
□澤男の大成功 壹圓五十錢の資本から出世して今は年額八十萬圓の大商人奮鬪經歷
□興國の根底……增田社長
□五大生命保險會社の經營振り……馬鹿にならぬ藥細工の巨利……池水生
□一大警告 蟲退治論……新渡戸博士
□新座法に依つて面貌精神全く一變せる岸本能武太氏の實驗法（必讀あれ）
□新企業如此勃興す
□素人で直に開業できる手輕な商賣あり 店員心得書の研究は如此せよ……濱田四郎
□太陽光線新療法
□慶應義塾より見たる早稻田大學
□流行中の風邪豫防十法……櫻山學士
□南洋行商實驗……南洋行商家 篠原生

一月十五日號 十一錢 稅一錢 一年半年 一圓六十錢 東京京橋 實業之日本社 振替三二六

浪板洋釘土工用具
石油揮發油諸油
大谷金庫建築金物
消防用具類
和洋ストーブ

京城本町一丁目 諸官衙御用達 佐野彦商店 電話一六三番 振替京城一二〇番

◎地方よりの御注文は代金引換を以て迅速に御發送可仕候

東京大相撲

（廿一日午後東京支局特電）

▲八日目の勝負

駒泉頂一港　常の花（おとし）四國洋
明（したてなげ）藤の川　櫻川（より）男島
近江富士（つりだし）苅藻川　源氏山　預　敷島
玉椿（よりたほし）逆鉾　龍ケ崎（したてなげ）小錦
大の川（ひねり）稻の穗　玉の川（ひねり）鳴門洋
千年川（よりたほし）紫雲龍　八甲山（よりたほし）若木山
九州山（ねぢたほし）土州山
石山（つきはなし）小常陸
兩國（つきはなし）眞砂石
栃木山（よりたほし）大鳴門
大錦（つりだし）大蛇潟
鳳（かたすかし）對馬洋

▲中入後
宮城山（より）寒玉子　朝綠　預　柏戸
宇都宮（ひねり）紅葉川　鶴渡（うつちやり）四海波
釋迦嶽（うはなげ）金の花
綾川（よりきり）玉手山
西の海（よりきり）黒瀬川

■苅藻川に近江富士は左四つに渡るや直ちに吊り出して近江の勝■敷島に源氏山は元氣同志の好取組にて双方注文に行かんとして幾度か仕切り直し漸く立ち上るや源氏素早く二本差しと爲りて寄り進み敷が右手に甄を捲いてウツチヤらんとするを落して寄り倒し源氏の勝■玉椿に逆鉾は一寸突き合ひ玉が左を差さんとするを逆其の手を取つて引き廻し其の儘押し切らんとするを玉殘して左四つに渡るや喰ひ下つて得意の守勢と爲り逆が焦つて下手投げに行くところをズル〳〵と寄り進み崩れかかつて寄り倒し久し振りにて玉椿らしき相撲を取りたり■小錦に龍ケ崎は双方突き合つて右四つに引き掴つて寄るを龍殘して土俵際にて上手投げを打てば辛くも極つて龍の勝■稻の穗に大の川は一寸突き合ひ引き落して大の勝■玉の川に鳴門洋は玉例の如く下を潛つて足取にゆくを鳴門防いで取らせず玉左を差せば鳴門四つとなる■千年川に紫雲龍は千年左を差して寄り進み紫雲がその手を取つて打棄らんとするを預けて寄り倒す■八甲山に若木山は岩木遮二無二突きかくるを八甲堪へて調子に乘らず悠々捌いて右を差すや左上手を引きつけて寄り倒す■土州山に九州山は土州飛び込んで右差となれば九州左上手を取り右を當て、グン〳〵と押進み土州が土俵際に捲き落さんとするを顧慮なく押倒して九州の勝

■石山に小常陸 は烈しく突き合ひ小常突き負けてタヂろぐ所を石拜がみ押に押し進み小常が土俵を廻つて殘さんとする、を突き詰め突き放して石の勝■眞砂石に兩國は眞砂が前日大錦を取り居る矢先きとて人氣頗る上り聲援盛んなる內に唯一押と突きかくるその右手を兩引かけて一振振り眞砂が立直らんとする所を突き放して勝は頗る簡單なりき

■大鳴門に栃木山 は好取組なり双方少し下つて堂々と仕切り矢聲諸共立ち上るやガツキと右四つ栃木左上手を取るやグツと引つけ金剛力に寄り進み鳴門の打棄やらんとするを浴びせ氣味に寄り倒して栃木の勝は大喝采

■大蛇潟に大錦 は是まで二回の對戰に一勝一敗今日が三度目の決戰ともいふべき好取組なり双方入念に仕切り大蛇の聲にて立ち上るや錦素早くヅブリ二本差しとなれば大蛇コハ失敗つたりと右上手を引きしが錦一息入れるや午蒡拔に拔き上げ大蛇ウンと首を卷いて殘さんとするを强引に吊り出して錦の勝は滿場大喝采

■鳳に對馬洋 は好取組バツタリ左四つに渡るや鳳頭を下げて喰ひ下がり對馬の出鼻に肩透しを引きしが利かず右上手を引かんとするを對馬引かせず同じく頭を下ぐれば鳳又も肩透かしを引きしが對馬又殘すや鳳右足を飛ばして鳥渡蹴返しを見せ對馬の出る氣勢を挫き息を計つて三度目の肩透しを引けば美事に極つて鳳の勝は大喝采

△中入後

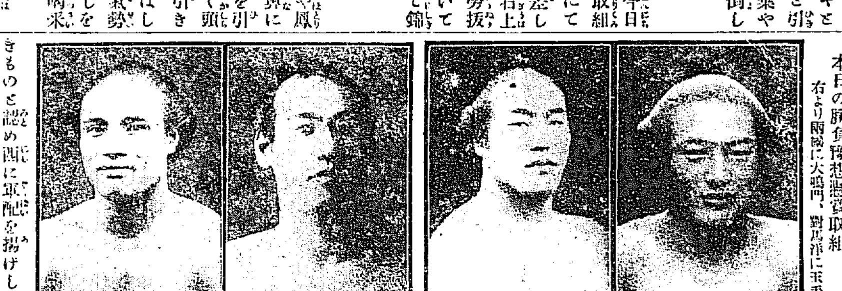
●寒玉子に●宮城山は寒が突いて廻るを宮城土俵際に殘して二本差となり寄り進んで寄切る■柏戸に●朝綠は突き合ひ朝が右差となるを柏巻き込み押し進んで押切る際朝打棄つて同體に流れ預■紅葉川に宇都宮は紅葉懷ろに附いて押さんとするその口を取つて綺麗に捻り宇都の勝■鶴渡に四海波は右四つ無雜作に吊り出して鶴の勝は四海相撲氣が無くなつた樣なり

本日の勝負豫想取組（右）大錦（左）鳳

■金の花に釋迦ヶ嶽 は本紙の勝負豫想懸賞相撲バツタリ左四つ金の寄る鼻を上手投にて釋迦の勝

■玉手山に綾川 は綾立ち上り樣左を差すや廻り込んで一氣に寄切る

■黒瀬川に西の海 は左四つ西寄り進んで寄切る際黒瀬打棄りを見せしも行司は黒瀬の蹈なきものと認め西に軍配を揚げしに西方控力士玉手山より同體なりとの物言ひつきしため檢査員總立となり紛擾三十分に及ぶも解決せず入間川二所ケ關熊ケ谷關の四檢查員は何れも西の勝を認め玉手を說得したるも玉手が飽くまで黒瀬の負に非ざる事を主張し頑として聽せざるため紛擾は一時間に及ぶも未だ決定せず協會よりは浦風出張して玉手を說諭中なり（午後七時十分）



本日の勝負豫想懸賞取組 右より兩國に大鳴門、對馬洋に玉手山

■第二報 紛擾漸く長引きしより協會に居合せたる雷、根岸、阿武松、待乳山等も協議の上結局土俵預かりにて西の海の勝と決し七時半打出したり

▲九日目の取組

（朝綠 小錦）（梅川 玉椿）（宇都宮 玉の川）（龍ケ崎 敷島）
（大の川 鶴渡）（鳴門洋 稻葉嶽）（四海波 石山）（紫雲龍 紅葉川）
（岩木山 柏戸）（九州山 寒玉子）（源氏山 黒瀬川）（釋迦嶽 八甲山）
（兩國 大鳴門）（對馬洋 玉手山）（大錦 鳳）

△中入後
（逆鉾 稻の穗）（宮城山 眞砂石）（近江富士 千年川）（小常陸 浦の濱）
（栃木山 土州山）（綾川 大蛇潟）（西の海 金の花）

右の內兩國に大鳴門對馬洋に玉手山大錦に鳳の三役は何れも今場所第一の好取組にして本社勝負豫想懸賞角力たり夏場所兩國は大鳴門に敗れ鳳は同じく夏場所の初顏合に大錦に敗れ居り對馬洋と玉手山は初顏合なれば定めて興多かるべし

◎卒業生の行衞

七百名の義務敎育終了者
中等敎育をうけるものが年々殖ゑる

每年の新學期に學校組合當局者が學齡兒童の收容方に就て頭を腦ますと同樣父兄側に重要視さるゝは中學校高等女學校の■入學試驗 である京城の七小學校より每年卒業する兒童數は約七百人に上り內京城中學校に三百五十名京城高等女學校に百五十名の各入學志願者があるが兩校每年の入學■出願者數 は中學校四百名女學校二百五十名位は地方よりの志願者であるで是等の志願者が競爭試驗に由り中學校に百五十名女學校に二百名の入學を許され其他の■不合格者 は小學高等科に居殘るか左もなくば善隣商業學校又は技藝學校に就學するより他に方法がない有樣である本年も亦受驗期日の切迫と共に■入學志望 の兒童は豫習に忙殺されつゝある次第であるが將來內地人の增加と共に希望を如何にして滿さんかは研究す可き問題であらう

▲中學入學志願者の心得

柴崎中學校長談

これから追々陽春三四月の試驗季節が近づくに從ひ府內各小學校の少年達に考へらるゝのは何うして中學校に入學しようかといふ問題であらう何しろ朝鮮に在る▽中學校の數 は京城と釜山と平壤（これは京城中學校の分校）の三校のみであるから此所で落第すれば來年を待つか若くは內地に遊學するかの二途しか無いので肝腎の生徒よりも其の父兄達が心配するのは無理からぬ事である殊に京城中學校では每年募集定員に對し應募者の數が數倍するので學校でも止を得ずいろ〳〵な選拔試驗を行はねばならぬ事になる、現に昨年の如きは定員百五十名に對し▽應募者の數 は六百名に餘つたから詰り四名に付き一人がやう〳〵及第する有樣である、併し京城、釜山、平壤の各地共入學試驗期日が異ふから先づ三月一二三日に行はれる京城中學に失敗しても次ぎは三月十三四日の釜山中學を受驗し尙終に同月二十日から平壤分校での試驗を受くる便宜もあるが何分にも京城は入學志願者が多數な爲め其大多數は▽入學試驗の 篩にかけられるのである、京城中學校昨年の例を見ると入學生徒の年齡は平均十二三歲が多く全及第者百四十六名中尋常小學卒業の者六十八人、高等一年修業者五十五名、高等二年修業三十名、他中學一名の割合で其の大多數は尋常卒業生徒である、然らば尋常卒業と高等修業とどちらが成績が良いか又どちらが生徒自身の爲めに利益かといふと概して秀才の少年は尋常小學校出の年少者に多く怠慢生徒は▽假令年齡は 一二年遲れて居ても二三年の間にはドシ〳〵年長者を追越して了ふやうなのが尠くないといふ併し身體の餘り健康で無い者は矢張り高等科卒業位が良からうとの說である、入學試驗科目は國語、算術、日本歷史地理、理科の四科目とし國語の中には作文、習字、書取讀解をも含んで居るが算術は又計算、應用の二つに分れて居る、其の他體格試驗も參考にするが今年抔は▽體格試驗を 重視し且つ從前の如く歷史地理をやれば理科を省略する方法を採らず全科の試驗を行ふといふ、又試驗の問題は施行前日に至り始めて校長自身が發表するのでそれまでは職員にさへも秘してある、入學願書は來る二月十日から十七日迄に受付けるが書類は入學願書と履歷書と大正五年一月以降作製の戶籍謄本が要る、又此の外に要るのは生徒の所屬せる小學校長から所見表なるものを中學校長宛に直接親展書で送つて貰ふまでである、所見表は▽小學校長が 視たる生徒の體格、學業、性質等の意見書であつて餘程中學校長の參考とするものである併し校長の話しでは試驗前の準備敎育は餘り面白からぬもので生徒の健康にも關係して來るからなるべくならば平素の勉强でそのまゝ受驗されたいとの事であつた

◎雄飛號 飛行の途に上る

再三再四天候の爲め失敗を招きたる航空船雄飛號は二十一日午後一時三十分所澤出發長途飛行の途に上れり（東京特電）

◎西海横綱

今場所の好成績にて愈々實現歟

西の海横綱問題は過般來より協會幹部間に起りつゝありしが今場所の成績は愈々その時機に到達せしものゝ如く役員の意見も略一致せるものゝ如し右に就き取締出羽の海曰く、西の海の横綱問題は豫て起つた事あり當時不幸にして成績面白からざりしを以て立消となりしも前場所と言ひ今場所と言ひ成績頗る良ければ横綱となるが穩當と認む彼の體格を見るも適當であると隨つて西の海の後には大錦代つて正大關に進むべく一時行詰まりの感ありし東方の登龍門も幾分開かれたりといふべし（東京特電）

◎松風會素謠會

京城觀世松風會にては師匠羽山尙德氏の任期滿了後更に重任を乞ふ事に決し來る二十三日（日曜日）午前九時より壽町松茂樓に於て新年の素謠會を開催する由因に同會は近來婦人の會員を增加し總員六十餘名の多きに達し居れるが當日の番組は左の如く一般の來聽を歡迎すと

[illegible]
▲番外 竹生島、朝長（[illegible]）三輪、野田
難波、箙崎（[illegible]）[illegible]

◎讀者文藝（[illegible]）

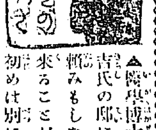
咲いた紅梅日はうら〳〵と洗ひ髮する紅翻の裏二階　龍宮　かもめ

[illegible]　南大門局　[illegible]

次回課題[illegible]但し一人一句限　切廿六日

◎微罪二千三百件

京城鍾路警察署で取扱つた大正四年度中の犯罪事件中即決處分に依つて拘留或は罰金科料等に處せられたものが二千三百九十四件に達して居る而して此中最も多いものが警察犯處罰規則違反が一千四百六十件で其他道路取締規則、荷車取締規則、宿屋取締規則等の違反者も尠くない賭博罪、傷害罪等もあるが其他警察の取締に關する各種の營業即ち理髮、人力車、貸屋、宿泊及び居住、猥褻罪、畜犬取締、古物商、藥品及び其營業、醫師規則、代書業、飲食店、森林令、出版法、清涼飲料水、氷雪營業、墓地火葬埋葬法、傳染病、除穢規則、市街建築、管營水道給水、娼妓關東令、按摩鍼灸業、度量衡、牛乳營業、屠獸及び獸肉販賣業等に關する各規則違犯者も若干宛あつた



▲醫學博士森安連吉氏の邸には時折賴みもしない事が來ることがある▲初めは別に氣にも留めないでゐた▲ところが近頃獨逸から來る筈の圖書が來ない▲併しこれは戰爭のために途中で[illegible]だらうとあきらめてゐた▲話替つて明治町の博士邸と程遠からぬ本町二丁目洋家具商の森安吉君の方へは賴んだ筈の品が行かなかつたり來る筈のない洋書が配達される▲この間違計りは博士の匙加減次第で何うにもなるといふわけでもなし▲さりとて森君の方から博士を相手取つて商標類似の廉で損害賠償の告訴を提起するわけにも行かず兩方共大弱り▲『朝鮮の少年は近年學校敎育を受けたお蔭で何れも皆悧好な小供となつた』と北部署の林警部の話に依ると前鍾路の電車通りで一名の鮮童が轢かれた時の事▲當時附近に居つた鮮人達は後の係り合を虞れて觸らぬ神の祟なしと許り何れも皆知らぬ振をして逃げて行つた▲其處で臨檢の警官も弱つて了いだん〳〵調査して行くと遂に一人の支那人が引き出された▲これは近所の店の鮮人が出鱈目半分に『此の大國人が突き飛ばした爲めに小供が轢かれた』と眞面目に申し立てたからであつた▲然るに件の支那人は全く知りません〳〵と許り頭へて居る一向要領が得られんのに困つた▲處が其處へ一人鮮人の普通學校生徒が現れて『電車に轢かれた小供のは私が一番よく知つて居ます』と云ひ乍ら傍で見て居たまゝを談したので警官は茲に始めて事實の眞相が解り大に助かつたとの事

◎青年會新年懇話會 京城基督敎青年會は同會館に於て廿二日（土）午後七時會員新年親睦懇談會を開催し將來の發展を計り且つ餘興として三尺坊及び鳥越氏の浪花節等ある筈

◎名幅の展覽 巴城館滯在中の加藤氏は二十二日及び二十三日兩日間淸諸大家の遺墨を同館樓上に陳列一般同好者の觀覽を歡迎する由

有樂館の力士浪花節 綾瀨川一行は連夜滿員の續きで御禮として今晚は特別番外角力甚句を御當聽に入れます　一月廿二日　有樂館

◎防長人會 一月二十三日午後三時京城ホテルに於て春季總會を開き會の刷新を圖り擴張に關する意見の交換をなし會長其他役員の改選を行ひ終つて懇親會を開く由入會希望者は京城ホテル又は本町郵便所竹我勉氏方へ申込むべし會費金一圓

▲五千噸造船[illegible]　府當局に要請し來りたるで[illegible]したるが時節柄船腹不足の際とて政府當局に於ても鋭意斡旋する所あり[illegible]扱供[illegible]すべき傭船に付種々風評あれど或る信ずべき筋に於て言明する處に依れば[illegible]は事實ならん併して他に二隻乃至三隻傭船を政府に傭船さるべきが如き萬[illegible]んとしつゝありし矢[illegible]丸が傭船となる

▲莫大小第[illegible]　商店に於て引受けたる露國軍用莫大小シャツ百萬組の內六十萬は同商店にて直接製造四十萬は東京メリヤス[illegible]

▲信管第二次引受　松匠製鐵所にては曩に引受けたる露國政府の大砲信管百二十萬個は八月末迄に[illegible]

▲窮迫せる鐵工界　造船界の活躍は勢ひ鐵工界の盛況を見るべ[illegible]に接し居れりと[illegible]れり左れど多額の洋鐵を有する當業者は相場漸次昂騰するを以て一齊に買惜の有樣なれば窮迫せる鐵工業者[illegible]の週に沈淪するに至

▲精糖値上發表　大日本製糖會社にては斯界の大勢を見て精糖二十二圓五十五錢と三十五錢の値上を[illegible]今回製品一割五分の値上げを發表せり同業者中窮況に在るものは金融の關係上濫賣するを以て値上の嚴密なる實行は困難なるべし

辱 皇后陛下 各宮殿下 御嘉納
國民新聞社編　定價五十錢　郵税八錢 本社負擔
理想の家庭
内容一斑
▲理想的家庭 德富猪一郎氏 ▲敎育 下田歌子女史 ▲結婚 鳩山春子女史 ▲育兒 瀨川昌耆博士 ▲衛生 吉岡彌生女史 ▲交際 山脇房子女史 ▲住宅 伊東忠太博士 ▲中流の納戶と裁縫部屋 羽仁もと子女史 ▲室內の裝飾 井上秀子女史 ▲庭園 長岡安平氏 ▲園藝 鈴木武太郎氏 ▲臺所 入澤博士夫人 ▲家庭料理 赤堀峰吉氏 ▲家庭經濟 嘉悅孝子女史 ▲衣服 堀越千代子女史 ▲洗濯 宮川壽美子女史 ▲下婢の使方 加藤博士夫人 ▲家庭の娛樂 巖谷小波氏
本社は現代斯道專門の諸先生が我國家庭の改良向上を圖らんが爲に住宅の建築構造より、育兒、衛生、家事、經濟の事に至るまで、家庭に必要なる百般の事項を細大漏さず叮嚀親切に講述執筆せられたものであります。加之前記各題目の後には家庭便覽として家政上最も大切なる種々の心得を記載し、尙諸先生考案の鮮明なる寫眞版を挿入してあります。主婦計りでなく家政研究中の女學生諸孃の、是非共一冊を左右にせらるべき最新刊の良書でございます。
大取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

改善された二月號　東京本町 博文館
少年世界　定價十錢 郵税一錢半 前金税共八冊八十五錢
■お伽小說 西の兎島……巖谷小波
△新しい科學の世の夢 少年斥候の最期（戰場實話）……三好博士 原田指月
△理想の都邑……横山博士
■特別附錄 二月の樂しみ（夢二、天風、蝶介、林風、渚山、永二郎、偉吉諸氏のクリ作物語とされし）
■樺山大將の少年時代……江見水蔭
△魔の居る森（探檢小說）……阿武天風
△黄金の錠（海上冒險）
△怪峽の奇禍（探檢冒險）……黒田湖山
■滑稽 チヨツキ先生……萬原幽
少女世界　定價十錢 郵税一錢 前金税共八冊八十一錢
■少女お伽 救ひの火……巖谷小波
△廊下の紙屑……大立教授
■ほほゑむ少女……沼田笠峰
△雪の旅路……池川修三
■氣のついたことから（可哀さうな狀、叔母樣の言葉、これも虚榮から、學校へ行くから、愛する心）
■女學校受驗の心得
△皮の手袋……岩崎千代子
△謎の短冊（少女小說）……黒田湖山
△これた植木鉢……伊藤はつ香
■白雪姫……（活動寫眞）

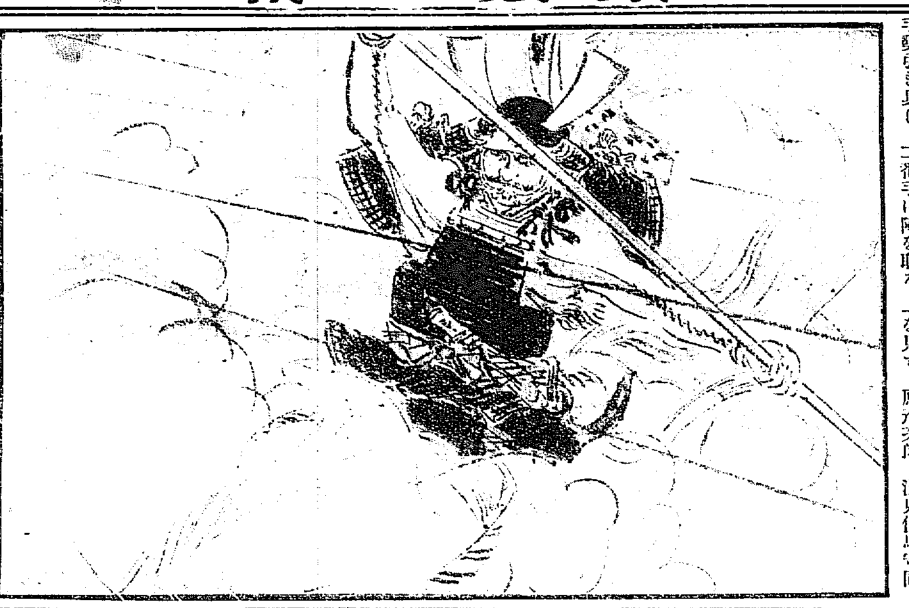
八千代生命保險株式會社の特色
●資本金壹百萬圓 ●創業滿三年 ●契約高貳千萬圓
當社は全國唯一の確實なる非營利的組織にして最も進步したる相互株式の兩長所を具備し保險料亦他に比して頗る低廉なり然して其收入保險料の全部は是を永久內地各府縣農工農行朝鮮各道農工農行に預入し地方產業資金となすにあり
八千代生命保險株式會社　京城旭町三丁目五番地電話一一三番
京城支店　京城明治町二丁目四六電話二六一番
京城代理店　唐川立造

千生瓢 (104)

須藤南翠作 筒井年峰畫

戰死(六)

權六勝久も頭を仰げて敵を見た。一氣に此手を討ち破つて、直ちに本陣に薄らんとするものと思しく、一の手、二の手、三の手、四の手と數限りもなき段備へとなし、曳々聲して進み來るのであつた。味方の兵はと見れば、原彦次郎氏治、淺見先に備へを立て、淺見但馬守も手勢引き具し、二番手に陣を取る。



小人數ながらも神部兵左衞門、適宜の處に地歩を占めて、神變不思議の軍をなし、敵を十分惱しくれんと、手藥練引いて待ちかけてゐる。後陣には柴田三左衞門尉勝政、これを最後の決戰と、深き覺悟は雜兵端武者の末までも充ち滿ちて、一枝騷かず一鳥鳴かず、鳴を靜めて控えてゐる。此時玄蕃允盛政、仔細に敵の陣立を見て、

『備樣に幾段にも分けて備へた事なれば、本陣は定めて空虛であらう。うむ、さうぢや。玄蕃は是れより筑前守の旗下に斬り込み、猿面冠者と引つ組んで、勝負を一機に決するであらう』と鐵棒をかい込んで、凜然として奮ひ起つた。

勝久は一も二もなく同意した。

『好い所に御心付かれた、究竟の御算、おざる。勝久も御供仕つる』欣然として勇み立つた、盛政一見して莞爾と笑ひ、

『さらば來い、權六』と、鐵棒二三度うち振るや、群がり進む敵を目かけて、馬を驅つて馳せ向ふ。玄蕃允の率先して、自ら敵に當るを見て、原彦次郎、淺見但馬守同じく馬を前め、雲霞の如き上方勢に割つて入り、四角八面に驅け散らす。當るを幸ひ切り捲つて、八方に荒れ廻るに別て權六勝久は新手である。神部兵左衞門は、盛んに鐵砲をうちかけ/\、眞一文字に討ちかゝる。一旦敗れた勢ながら、將卒一心一致する時は、其勢ひの鋭きこと、堅鐵を以て鍛へた如く、射れども、突けども怯ともせず、火水となつて戰ふ有樣、傷を負うたる野猪の如くなれば、衆を恃んだ上方勢も、散々に討ち破られて、一二の備へは立つ足もなく切り崩された。

此目覺しき勇戰を見て、柴田三左衞門尉勝政も回し來たり、遁へ走る敵を逐うて、面も振らず斬り進む。

總て味方の勢は、一死をこゝに決して、寸土だも顧ふ心なく、唯だ死後の名を惜んで、華々しく討死せんとのみ心懸れば、向ふ所殆ど前なく、戰ふとして勝たざるはなかつた。

柴田權六勝久は、玄蕃允に隨つて敵を散々に惱ました上、馬を控へて人々の働らく樣を見てゐたが、

『何樣ゆゝしく振舞はるゝ人々よ。此の人々と一つになつて、心行くまで勇戰を心がけ、秀吉が本陣に切り入つて、其處に屍を横へん事、武門の名譽此上はあるまい。今や踊る、今や踊ると、匠作は待たられうが、弓矢取る身が一旦かゝる場所に臨んで、何しに馬を回されようぞ。今は飽まで玄蕃允殿に隨つて、生死を一つにすると極めたわ。』勝久に同心の面々は、共に死ねや、と、聲調らかに申し渡した。

旗下の諸將のうちより、長井五郎右衞門、青木勘七、原勘兵衛、鷲見九藏、同く源七、豊島伊兵衞、毛家新內等、我れ劣らじと進み出でて、

『仰せの趣き我々至極御同心に存じます。態々本國に逃げ歸つて、憂き死恥を曝し申さうより、勇ましく敵陣に切り入り、潔よく討死を遂ぐる事、我等が豫ての本望わざります。いざ打たせられ、何處まで御供仕つるわ』と、異口同音に叫ぶのであつた。

『嬉しいぞや方々、さらば敵を逐つ散らして、玄蕃允に續き申さう。目ざすは秀吉が本陣ぞ』

『仰せにや及ぶべき。いざさせ給へ』

『來れ、方々』

一騎當千の勇士等二千餘騎、槍を揃へて、砂煙を立てゝ躍り入る。上方勢はまた亂された。

讀者の領分

何時の間にやら新義州へは近來異樣の支那人が澤山來たが彼れは何者だらう(鐵橋の番人)

▲貴社の相撲騷質は實に樂みだ私は每朝新聞の來るのを待ち兼ねて居ます相撲が濟んだら何にか面白い騷質を出して下さい(水原の愛讀者)▲本町通りの狹い處をヨボが大きな荷車を曳いて行くのは危險で仕樣がない大阪などでは心齋橋筋は車止をやつて居るせめて荷車は夜間人通のない時に限るとでもして貰ひたいですね(新渡鮮大阪人)▲一時京城の風呂賃は非常に高いと云ふ評判があつたが實際高い(引下同盟會)▲猩紅熱は內地人が罹ると酷い目に遇ふが朝鮮人は平氣なものだだからチゲなどは病氣をやりつゝ平氣で往來して病毒をまき散す先づ此れが根本的殲滅にはさう云ふ方面へ大に注意せねばなるまい(藪醫師)▲京城の蕎麥屋の酒は實にまずい東京などで蕎麥屋で飲む

商況

大阪三品 五月限 一二三、一〇 一二二、九〇 六月限 一二三、六〇 一二三、八〇

▲麥畑の商況 [illegible] 俵安に付四錢と一歩下押したるも買際勝にて節々出申四節に至り十九錢と跳れ七錢と押したるも遂に二十錢丁度と引締めて小堅き散會 [illegible] さ弛みたるも買物勝にて遂に廿錢丁度と上伸し小堅き散會を告げたり [illegible]

◎店員入用 十五六歳の者數名 京城本町二丁目 龜屋商店

◎生徒募集 本年四月入學セシムベキ本校第一學年生徒約百五拾名ヲ募集ス詳細ハ朝鮮總督府官報(大正五年一月十九日以後五日間)ノ本校ニ就キテ承合スベシ 大正五年一月 京城中學校

京日案內

普通 一回前金三十錢(無割引) 一行毎に金五錢增

◎看護婦募集 帶本人至急來談あれ 南大門通三藤木商店横入 胃腸病院

◎有給外交員募集 携帶本人至急來談 ◎京城櫻井町一の一七 大日本國民教育會支部 276

◎貸家 万千閣西石段上る二階建 ○温突水道付家賃金拾五圓 黃金町電話二三三六番へ ◎古木買入 誠實御報參上 京城本町一丁目 273

◎番外 一回前金六十錢(無割引) 一行毎に金十錢增 京城本町一丁目(明治町通) 電話二六三六番へ 野村書店 252

◎朝子青州 ◎實業之滿鮮社 京城 滿鮮記者部合併任す 275

◎看護婦急募集 年齡十八歳以下但し午後二時後本人來談あれ ○京城本町三丁目 電話壹八三一番 今村醫院 374

◎資本家を求む 有利にて見込ある製造業擴張の爲め資本金千圓を要す人格ある資本家を求む 共同經營聽希望(姓名在社) 272

▲カゼピリンといへば 近來最も賣行きよきカゼ藥といふことは我が賣藥界の定評である 特約店 南大門通二 新井藥店 271

◎裁縫 生徒募集 ○和服其他 ○規則書無料送呈す 最新式裁縫刺繡敎授 黃金町二丁目 シンガー裁縫刺繡院 269

◎兵庫縣人會注意 本日午後五時 ▲場所 淸華亭 ▲會費 式圓五拾錢 ▲餘興 和洋音樂淨瑠璃 ▲申込所 黃金町二 白井勝悟 266

▲下宿屋讓り度し 京城本町一丁目尤日技の裏通り 出入に至便目下在宿者數多あり内地引揚に付至急其儘讓り度し 姓名在社 266

◎温泉 病にきき手輕な料理 御保養方御入湯に是非一度御出下さい 漢江通練兵場前 (電話三二二一番) ◎龍山溫泉 228

開業質及金貸 有方に對しては特に低利御相談に應ず 秘密確守し返金の誠意 京城永樂町一丁目 商品陳列館前横入 秦質店 250

恩給 即時立替低利手數料極安 方通信取引債務附證書引受 京城若草町百六番地電話二二六三番 勸業債券 御不用分高價買受 西村商會 259

完全ふるあるから赤毛染 ナイス 見よ二十分で染る

二十分前の 白髪 赤毛は?

二十分後に 艶々と黒く染る!!

ナイスの五特點!! 一 二十分で染まる。二 洗ふて剝げない。三 用ひ方手輕。四 枕につかず。五 毛の痲を治す

價 大 六十錢 小 卅五錢 新 卅五錢 發賣 大阪平井商會 東京丹平藥房 全國到る處藥店化粧品店にあり

各國時計 自轉車 蓄音器 直輸入卸商 京城黃金町二丁目(電話一〇一五番) 喜多金光堂 振替口座七八二番

無双醇良清酒 衛生無害 品質無双 首藤合名會社吟造 精白米御小賣 キリンビール サッポロビール 醬油 龜甲萬 各種シトロン 三矢印サイダー 各種 朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町(電話一一七一番)

生徒募集 東京齒科醫學專門學校 詳細は十二月、一月十五日の官報にあり 學則要郵券 東京神田三崎町

資本金 壹百萬圓 政府貸下金 三十二萬九千二百圓 農工債券發行高 八拾萬圓 株式會社 漢湖農工銀行 京城南大門通二丁目 銀行長 白完爀 支配人 遠山熙 支店(開城、春川、江景、長湍院、太田、公州、鐵原、淸州、忠州、論山) 電話 五五二四番 五五二番 五五七番 當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

くすりは山岸 諸官衙御用達 洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械 懇切叮嚀迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候 京城本町一丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話

患者諸君注意あれ りん病ばい毒 にせドラッグあり

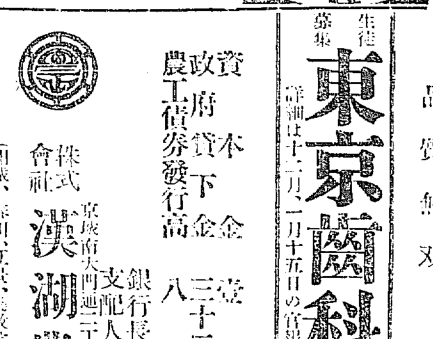
大阪合資會社ドラッグ商會有田鑑製 本舖 近頃弊社の隆盛を羨み東京、京都を始め全國各地に僞物を賣る奸商あり中には甚しきは既に其筋より罰せられたる者もあり或は又紛はしき商號を用ひて店掛り看板等殆ど弊社の販賣部と酷似せる構へをなし恰も弊社の販賣本部の如く裝ひ藥名容器外見等も十分違はぬ物を販賣する者もあり之等は只外觀を眞似たるのみにて藥味は全く別物なり。藥品の表裝に記名無き物は悉く眞正なる弊社の製品に非ず。弊社の製藥は奸商の夢にも摸倣すること能はざる獨特の專門特効藥なり。僞物には東洋ドラッグ、東亞ドラッグ、京都ドラッグ、京城ドラッグ等種々あるも之れ等は凡て弊社と何等の關係無き贋造藥を販賣して世人を瞞着し不正の利を貪らんとする憎むべき奸商共なり。されば眞正なる弊社の責任を重んずる爲他店にはは一切取次販賣を許さず直接御注文を乞ふ。大阪合資會社の製品を購求せられんとする患者諸君は必ず直接御注文を乞ふ。

京城南大門外停車場通り 花柳病專門藥房 ドラッグ商會 滿鮮本部 電話四二五六七番・振替京城四六七番

優等清酒 一鶴 京城本町四丁目(電話六五四番) 本莊酒店

滿蒙處分論 露國クロパトキン將軍原著 定價金一圓 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇

醇良清酒



釀造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎 特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎 特約販賣店 同 本町三丁目 明治屋支店

日本郵船仁川出帆
○大連、秦皇島行 相模丸 一月廿八日 正午出帆 竹島丸 二月四日 正午出帆 高砂丸 二月十二日 正午出帆 仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 二月八日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 一月廿七日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 一月廿五日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 二月三日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 一月三十日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 二月十日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大典丸 毎月二日九日十六日廿三日 廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埠立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
第六共同丸 芝罘、大連行 一月廿三日後二時入港 一月廿五日前九時出帆
第一阪鶴丸 城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 月 日後九時 月 日出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 月 日前八時 月 日出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 南大門(電話二六八、二〇七) 京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 秀吉丸 一月廿五日後四時出帆 大有丸 一月廿七日後四時出帆 神代丸 一月廿七日後四時出帆 蛟龍丸 一月廿九日後四時出帆 若が代丸 一月三十日後四時出帆 仁川海岸通二丁目 電話十五番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
京畿丸 一月廿三日 黃海丸 一月廿七日 成鏡丸 二月六日 釜山發
慶城丸 一月廿四日 昌平丸 一月廿一日 鏡城丸 一月廿八日 初陽丸 一月廿二日 元山發
平壤丸 月 日 忠清丸 月 日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
益德丸 一月廿二日 釜山發
江陵丸 漢陽丸 每日(釜山浦項發)
三浦丸 一月廿一日 釜山發
海州丸 統營丸 巨濟丸 慶寶丸 毎日 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 一月廿三日 木浦發
公州丸 一月廿一日 木浦發
公州丸 一月廿六日 木浦發
全州丸 一月廿五日 仁川發
江原丸 一月廿六日 仁川發
營州丸 麗水丸 一月廿三日 一月廿八日 仁川發
錦江丸 南陽丸 毎日午前 仁川發
平安丸 一月廿四日 一月廿八日 群山發 若松發

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 油頭丸 二月一日 午後五時出帆 天智丸 一月廿六日 午後五時出帆 須磨丸 一月三十日 午後五時出帆
×安東丸 一月廿五日 午後二時出帆 城津丸 一月卅一日 午後二時出帆
○大連行 安東丸 城津丸 一月五日 午後二時出帆
○群山、神戸、大阪行 溫州丸 一月廿四日 後五時出帆
○群山、釜山、橫濱行 福州丸 二月七日 潮州丸 一月廿八日 午後四時出帆
○大連直行 福州丸 潮州丸 一月廿四日 二月一日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆) 北久丸 一月廿八日 臺北丸 二月八日 午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 一月廿五日 安平丸 二月十日 午前四時出帆
御注意 仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 一五〇番 京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

◎鮮人の家宅侵入 京城府 [illegible] 村洞蔡東雲(三[illegible])は昨年一月三十日午 [illegible]

◎倉庫泥棒 京畿道高陽郡崇仁面安岩洞李百萬(三十)は一月十五日午 [illegible]